HITACHI

10枚の"切れる刃"が高速回転。剃り味の違いは内刃にあった。

# 10枚刃力（バリキ）。

回転

世界初[*] ロータリーシェーバー

TWIN

**RM-WX300**

本体標準価格
33,000円 税別
●1時間充電・交流式両用
●AC100−240V

COMBI

**RM-CX19** NEW

本体標準価格
20,000円 税別
●1時間充電・交流式両用
●AC100−240V

SINGLE

**RM-X14** NEW

本体標準価格
14,000円 税別（10月発売予定）
●1時間充電・交流式両用
●AC100−120V

ロータリーシェーバーは、3タイプ9機種取り揃えております

●商品の価格には、配送・使用済み商品の引き取り等の費用、および、消費税は含まれておりません。●ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。●ご購入の際は、必ず「保証書」の記入事項をご確認のうえ、大切に保存してください。
●特許53件、実用新案31件出願中（平成8年8月現在、出願中を含む。）※平成8年7月（当社調べ）

(株)日立製作所・九州日立マクセル(株)

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

## 巻頭言

財団法人日本ハンドボール協会専務理事
中澤　重夫

# 日本ハンドボール界の将来に向かってご協力を

最近、日本ハンドボール界には、活性化、メジャー化といった言葉がとびかい、多く言われています。日本協会の事業の中にも活性化のための10項目が揚げられています。これらはすべて人々が生き生きと活動することを念頭に描かれていますが、実行に移さなければ絵に描いた餅となります。これを実行に移すとして必要なものは「人・資金・物」であり、このことを考えると今のハンドボール界はいささか頼りのない感じがします。

人材の面から見れば、小子化の影響で登録人口の減少が懸念され一度学窓を巣立てばハンドボールに関わりを持つ人が少なくなる現象があり、ましてや、協会の運営などハンドボールの周辺での活動もなくなってしまっています。そして高齢化。今や日本の社会はかつてない高齢化の時代に入っていると言われています。このような状況の中で、若い人材が協会運営などを敬遠すれば活性化など望むべくもありません。

次に必要なものとしてこれらの事業を展開する資金であります。従来ハンドボール界ではボランティア精神が重要視され事業に関わる資金についてはないがしろにされてきたきらいがあります。最近のスポーツ界の潮流として事業費は膨大となってきているにもかかわらず、ハンドボール界ではほとんど身内の資金で展開しているのが実状です。

物として考えられるものは、ハンドボール界にとっては、ゲームと言うことになります。このゲームが参加する人にとっても、見る人にとっても価値あるものとならなければならないのです。

野球とサッカーを活性化の1つのモデルとしてみれば、少年野球、サッカースクールからプロ野球、Jリーグまでさまざまな人々が関わりを持っているよう見受けます。決してこれらのファン層と言われる人々は、野球人、サッカー人と言われる人々だけではないはずです。さらにサッカーにおいてはJリーグが社会現象とまでも言われているようです。

このように、活性化を「人・資金・物」の面から見てみると、ハンドボール界では身内だけの活性化としているのではないでしょうか。もっと周辺をも巻き込めるような魅力ある物にしていくことが大切であると考えます。このために核となるべき世界選手権の開催という大事業が目前に迫っています。またジャパンオープントーナメントとして新機軸の大会も開催され、今後の展開に大きな期待を寄せる次第です。これらの事業展開にまず我々ハンドボール人一人ひとりが取り組まなくては成功はおぼつかないのです。まず、この事業にハンドボール人として何か1つでよいのです、関わりを持って戴くと共に、ぜひご協力を戴けるようお願いする次第であります。

# 協会だより

## 8月度常務理事会

【日時】 8月3日(土)11時から16時30分

【場所】 岸記念体育会館505会議室

【出席者】 中澤専務理事、常務理事4名、参事、監事各1名、事務局2名。

'97世界選手権の財政課題についての8月2日(金)の会議について報告があった。

### 1、'97男子世界選手権関連事項

(1)財政課題について

8月2日に打ち合わせした「大会総費用の見直し」について、日本協会財政計画を立案するために、財務メンバーと渡邊副会長、西事務局長と会合を持ち8月末までに決定する方向で進める。

(2)フレンドシップ'97事業について、趣意書と専用振替用紙を7・8月開催の各大会実行委員会事務局宛に送付した。今後各県、ブロック協会、各団体、個人に送付する。

(3)世界選手権大会告知、集客及びメディア等の計画に対し、推進していくことで了解。

'97フェスティバル大会について計画の報告があり、再検討で具体化することとした。

各項目について事業担当理事より状況把握のため推進状況を毎回報告することとした。

### 2、第1回ジャパンオープントーナメント開催に関わるO－157対策について

出場辞退に対し、出場要請するが、それ以上は「やむをえない」状況にあると確認した。

大会は予定通り開催することで了承。

当面の日本協会の対応としては、今後開催される各種大会においても、保健所等からの配布資料に日本協会より予防注意書を添付し、日常の予防対策を促すこととした。

### 3、IF、AF会議の報告

IHF総会の報告が提出され、渡邊副会長がCOC委員に新任されたことが報告された。

### 4、第49回全日本総合選手権大会の運営方法について

東京都協会よりの要望書について検討したが、運営は日本協会と東京都協会が協力して実行委員会を設けて実施することを、先の常務理事会で決定していることが確認された。この旨返答することとした。

### 5、第52回国体のブロック別出場チーム数について

従来の公式通り参加チーム数のブロック割り当てチーム数を承認した。

### 6、その他

●日本リーグ運営委員会報告

●オーナー会議開催について

●第1回ジャパンオープントーナメントの県予選、ブロック予選の結果及びチーム選考方法等の情報収集の提案があり、実施することとなった。

●日韓中ジュニア交流試合の団長人選について専務理事一任した。

●海外遠征届け出制度について、昨今の事情から届け出制について再度検討することとした。

●8月19日、世界選手権熊本大会の第2号ポスター審査会。

# アトランタオリンピック大会の視察を終えて
# シドニーオリンピック大会への男女アベック出場を目指してスタート!!

日本ハンドボール協会強化委員長　野田　清

アトランタオリンピック大会を7月30日から8月4日まで予選リーグ、順位決定戦、決勝トーナメントを観戦し、各国の戦術・戦法、ディフェンス・オフェンスシフト、速攻システム、固有技術などの情報を収集し、これからの日本チームの強化施策及び'97年の第15回世界男子世界選手権大会熊本での上位進出を図るために、ハンドボール競技会場を訪れた。会場に着き、ゲームを観戦し、最初に感じたことは、"オリンピック大会は観るのではなく大会に出場し、ゲームを行うものである"ということであった。

## 1、大会観戦の感想

各ゲームとも白熱した好ゲームが展開されたが、中でも特に印象深かった男女の決勝戦、3位決定戦の感想を述べたい。

男子決勝戦は、クロアチアが内紛という厳しい悪条件を乗り越え、プレーヤーの勝利への見事な執念とベテランの巧みな試合はこびで金メダルを手中に収めた。このベテラン勢のなかに、歴代全日本チームが大変御世話になった故スノイ氏（旧ユーゴスラビア）の教え子（プッツ、スマイラジッチ、ペルコバッチ等）の活躍を見て、胸が熱くなるのを感じた。スウェーデンはこの大会で金メダルを獲得をと万全を期して臨んだが、決勝戦の立ち上がりの異常緊張が最後まで勝敗に影響し、1点に涙を飲み、野望が破れ銀メダルとなった。

3位決定戦は、1995年世界選手権大会優勝のフランスとスペインの戦いとなった。1時間息をつく間もないほど死闘が繰り広げられたが、世界のトッププレーヤー・ドゥィシェバイエフの活躍によりスペインが銅メダリストとなった。

女子決勝戦は、韓国がオリンピック大会女子球技史上初の三連覇がかかっており、大きなロマンをもちゲームに臨んだ。試合は前半韓国ペースで進み、このまま進むかと思われたが、後半に入るとデンマークGKの攻守とオフェンスのすさまじい攻撃で追い上げ延長戦へともつれ込んだ。延長の立ち上がり、連続ポイントをあげたデンマークが逃げ切り、初の金メダルを獲得した。

3位決定戦は、ハンガリーとノルウェーで争われたが、両チームとも総力を出し切り激戦を繰り広げ、1点を争う好ゲームとなったが、ハンガリーが粘り強い攻守とメンタルタフネスで銅メダルをもぎとった。

大会を終えてみると、男子は大会前の予想通り強豪国が決勝トーナメントに進み、勝利の女神がクロアチアに微笑んだと言える。アジア地区代表のクウェートが本大会では、OF、DFの主力選手を欠きゲームに臨み最下位で終えたことはアジアとしても残念な結果であった。

女子は共産圏の崩壊後の国の分裂などにより北欧勢が世界のトップレベルを形成しており、従来の勢力分布図に対し若干変化を見せている。この大会で韓国が2位、中国が5位に入賞したことはアジアが世界のトップレベルであることを立証してくれた。

クロアチアのエース・スマイラジッチのシュート

延長戦となる白熱した一戦となったデンマークと韓国の決勝戦

## <オリンピック出場国の戦術・戦力分析>

| | | 男子チーム | 女子チーム |
|---|---|---|---|
| ランク | 第1グループ | クロアチア、スウェーデン、スペイン、フランス、ロシア | デンマーク、韓国 |
| | 第2グループ | エジプト、ドイツ、スイス | ハンガリー、ノルウェー、中国、ドイツ |
| | 第3グループ | アメリカ、アルジェリア、ブラジル、クウェート、(日本) | アンゴラ、アメリカ、(日本) |
| 技術面 | オフェンス | 1.センタースリーオフェンスシステムが主流。<br>2.セットオフェンス主体にポスト、サイド、カットインを中心に得点確率の高い攻撃力をもっている。<br>3.試合リズム、時間帯以外は全て速攻をしかけ、ファースト・セカンド・サードブレイクまで行っている。 | 1.センタスリーオフェンスシステムが主流<br>2.トップチームは強力なアタッカーがおり、そのプレーヤーのロング、アシスト、カットインを中心にしながらポスト、サイド攻撃をしている。<br>3.トップ、両サイドDFを中心に速攻を多用している(韓国の速攻力は世界No.1)。 |
| | ディフェンス | 1.3:2:1ディフェンスシステムが主流(6:0ディフェンスはスウェーデン、スイス)。<br>2.チームが劣勢の時は、4:2ディフェンスなど攻撃的ディフェンスを用いて相手のミスを誘っている。<br>3.退場時は4:1ディフェンス主流ディフェンス力は高い。 | 1.6:0ディフェンスシステムが主流(相手の攻撃力に合わせて6～9mでディフェンスラインを変更している)<br>2.韓国は5:1、1:5ディフェンス、デンマークは5:1ディフェンスを併用している。 |
| | ゴールキーパー | ●ディフェンスとのコンビネーションキーピングをしている(ゴールキーパーの阻止率が試合の勝敗を左右している) | ●ディフェンスとのコンビネーションキーピングをしている。 |
| 体力面 | | ●身長190cm前後、体重95kg前後とプレーヤーは大型化されている。 | ●身長170cm前後、体重65kg前後とプレーヤーは大型化されている。 |
| 精神面 | | 1.各プレーヤーはファイティングスピリット、メンタルタフネスは一流。<br>2.オフェンス、ディフェンスでのリーダーは明確になっている。 | 1.チームとしての精神的な強さは韓国がNo.1であった。<br>2.チームリーダーが明確に存在しているチームがゲームで好結果を出している。 |
| その他 | | 1.オフェンス、ディフェンスの各ポジションの役割と責任を着実に実行できるプレーヤーを多く持っているチームが勝者になっている。<br>2.前回の世界選手権大会と比べ戦術、戦法面で大きな変化はなかった。 | |

## 2、世界の競技水準について

今大会出場国から世界のレベル推定と各国の技術、体力、精神力及び戦術、戦法などを上の表の通り分析をした。

## 3、日本チームの今後の主な課題

日本チームが今後世界のトップクラス入りやシドニーオリンピック大会の出場権を獲得していくために主な課題は次のとおりである。

(1) 世界の大型化への対応として、高さを求めることは限界があるが、重さ(筋力)とスピード(瞬発力、敏捷力)をスポーツ医科学委員会との連携を密にし、目標値を設定し計画的に向上させる。

(2) 精神力は①プレッシャーへの意識改革、②トレーニングの変更によるプレッシャーの克服、③国際大会・国内大会の経験の積み上げによるプレッシャー順応力のアップなどによりメンタルタフネス、ファイティングスピリットを向上させる。

(3) 日本チームの〝目指す姿〟の構築とチームづくりへの計画的な推進をしていく。

(4) ナショナル選手所属チームとの連携による一貫した指導体制の充実を図る。

| 目指す姿(骨子) | | |
|---|---|---|
| | オフェンス | 得点確率の高いシステムの完成、個性技術の優れた選手の育成。 |
| | ディフェンス | 相手の攻撃に対応できるシステムの完成、相手の速攻に対するゾーンドックディフェンスの完成。 |
| | ゴールキーパー | ディフェンスとのコンビキーピングの完成、速攻に対するボール出し判断力のアップ。 |
| | 全般 | 固有技術のアップによるイージーミス撲滅(パス、キャッチ、ノーマークシュートミスの3悪追放) |

## 4、今後の強化方針

主な課題の早期解決のため対応策の推進が最優先であるが、男子チームはオルソン監督の世界選手権熊本大会までの強化施策内容をベースに「ナショナルチーム指導要項」の再構築をし、強化を推進する。女子チームはアトランタオリンピック大会でアジアが世界のトップレベルであることが立証されたので、中国、韓国対策に重点を置いた強化を推進する。特に韓国の優れたパス・シュートテクニックやフットワーク力を謙虚に学び積極的にチーム強化に取り入れ、1976年のモントリオールオリンピック大会のように、シドニーオリンピック大会では男女アベック出場を実現すべくこれからの強化施策を推進していきたい。

優勝を喜ぶデンマーク女子

# 韓国女子 オリンピック3連覇ならず
## 男子はクロアチアが金メダル獲得

注目のアトランタオリンピックは7月24日～8月4日まで、アメリカ、アトランタ市で行われた。男子はフランスのアイスランドでの世界選手権に続く連覇、またクロアチアの雪辱がなるか、はたまた、スウェーデン、ロシアの巻き返しがなるか興味深いものがあった。決勝は、スウェーデンとクロアチアの予選Aグループ同士の対戦となり、予選リーグで手の内を見せなかったクロアチアが前半のリードを守りきり、金メダルを獲得した。

女子は韓国の3連覇がなるか注目されたが、延長で力つきデンマークに次ぐ銀メダルで終わった。

### 男子決勝戦

| No. | クロアチア | 得点 | シュート | No. | スウェーデン | 得点 | シュート |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | JELCIC. Vladimir | 0 | 1 | 2 | HEDIN. Rebert | 0 | 1 |
| 3 | PERKOVAC. Golan | 6 | 10 | 3 | WISI,ANDER. Magnus | 3 | 5 |
| 4 | SMAJLAGIC. Irfan | 6 | 8 | 4 | SIVERTSSON. Thomas | 2 | 2 |
| 5 | JOVIC. Bozidar | 6 | 6 | 5 | LINDGREN. Ola | 0 | 0 |
| 9 | KLJAIC. Nenad | 2 | 2 | 6 | CARLEN. Per | 0 | 1 |
| 10 | PUC. Iztok | 0 | 1 | 7 | HAJAS. Erik | 7 | 7 |
| 11 | MIKULIC. Zoran | 2 | 2 | 9 | LOFGREN. Stefan | 2 | 4 |
| 13 | CAVAR. Patrik | 3 | 6 | 11 | THORSSON. Pierre | 8 | 13 |
| 15 | GOI,UZA. Slavko | 2 | 7 | 13 | OLSSON. Staffan | 3 | 7 |
| 17 | SARACEVIC. Zlatko | 0 | 2 | 14 | ANDERSSON. Magnus | 1 | 2 |
| 12 | LOSERT. Venio | 0 | 0 | 1 | OLSSON. Mats | 0 | 0 |
| 16 | MATOSEVIC. Valter | 0 | 0 | 16 | SVENSSON. Thomas | 0 | 0 |

### 女子決定戦

| No. | デンマーク | 得点 | シュート | No. | 韓国 | 得点 | シュート |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | TANDERUP. Derthe | 0 | 1 | 3 | KIM. Mi-Sim | 5 | 10 |
| 4 | ANDERSEN. Camilla | 4 | 5 | 6 | KWAG. Hye-Jeong | 0 | 0 |
| 6 | HOFFMAN. Anette | 6 | 9 | 7 | LIM. O-Kyeong | 15 | 20 |
| 7 | HANSEN. Anja | 4 | 5 | 8 | KIM. Rang | 3 | 1 |
| 9 | KOLLING. Janne | 3 | 6 | 10 | OH. Soong-Ok | 3 | 9 |
| 10 | HAMANN. Genny | 0 | 0 | 11 | HONG, Jeong-Ho | 3 | 8 |
| 11 | ANDERSEN. Anja Jul | 11 | 18 | 13 | PARK, Jeong-Rim | 0 | 1 |
| 13 | MADSEN. Citte | 3 | 4 | 14 | KIM, Eun-Mi | 2 | 5 |
| 14 | ASTRUP. Heidi | 5 | 7 | 15 | LEE, Sang-Eun | 2 | 3 |
| 15 | KJAERGAARD. Tonje | 1 | 2 | 17 | KIM, Cheong-Shim | 0 | 0 |
| 12 | SUNESEN. Gitte | 0 | 0 | 1 | MOON, Hyang-Ja | 0 | 0 |
| 16 | LAURITSEN. Susanne | 0 | 0 | 12 | OH, Yong-Ran | 0 | 0 |

### ★ベストセブン(IHF発表)★

◇男子

CP P•チャバル(クロアチア)
I•スマイラジッチ(クロアチア)
M•アンデルソン(スウェーデン)
F•ボルレ(フランス)
S•ストエックリン(フランス)
D•トルゴバノフ(ロシア)
GK M•オルソン(スウェーデン)

◇女子

CP A•アンデルセン(デンマーク)
林五卿(韓国)
洪延昊(韓国)
金銀美(韓国)
E•コチス(ハンガリー)
K•グリニ(ノルウェー)
GK S•ラウリットセン(デンマーク)

### アトランタオリンピック女子得点ランキング

| 順位 | プレーヤー | 背番号 | 国 | 試合 | 得点 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | LIM, O-Kyeong | 7 | 韓国 | 5 | 41 | 8.20 |
| 2 | GRINI, Kjersti | 3 | ノルウェー | 5 | 39 | 7.80 |
| 3 | MATEFI, Es | 2 | ハンガリー | 5 | 35 | 7.00 |
| 4 | ANDERSEN, Anja Jul | 11 | デンマーク | 5 | 33 | 6.60 |
| 5 | SHI, Wei | 17 | 中国 | 4 | 31 | 7.75 |
| 6 | ZHAI, Chao | 7 | 中国 | 4 | 29 | 7.25 |
| 7 | HIRES, Chryssandra | 10 | アメリカ | 4 | 26 | 6.50 |
| 8 | OH, Seong-Ok | 10 | 韓国 | 5 | 24 | 4.80 |
| 9 | HONG, Leong-Ho | 11 | 韓国 | 5 | 23 | 4.60 |
| 10 | CAIN, Sharon | 7 | アメリカ | 4 | 22 | 5.50 |
| 11 | KOCSIS, Erzsebet | 6 | ハンガリー | 5 | 20 | 4.00 |
| 11 | ANDERSEN, Camilla | 4 | デンマーク | 5 | 20 | 4.00 |
| 13 | HOFFMAN, Anette | 6 | デンマーク | 5 | 19 | 3.80 |
| 14 | GOKSOR, Susann | 5 | ノルウェー | 5 | 18 | 3.60 |
| 14 | NEMETH, Helga | 7 | ハンガリー | 5 | 18 | 3.60 |
| 16 | RITSKIAVITCHIUS, Miroslava | 2 | ドイツ | 4 | 17 | 4.25 |
| 16 | HALTVIK, Trine | 10 | ノルウェー | 5 | 17 | 3.40 |
| 18 | LUCA, Emilia | 3 | ドイツ | 4 | 16 | 4.00 |
| 18 | KIM, Eun-Mi | 14 | 韓国 | 5 | 16 | 3.20 |
| 20 | MADSEN, Gitte | 13 | デンマーク | 4 | 15 | 3.75 |

### アトランタオリンピック男子得点ランキング

| 順位 | プレーヤー | 背番号 | 国 | 試合 | 得点 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | CAVAR, Patrik | 13 | クロアチア | 6 | 43 | 7.17 |
| 2 | STOECKLIN, Stephane | 18 | フランス | 6 | 36 | 6.00 |
| 3 | BAUMGARTNER, Marc | 13 | スイス | 6 | 35 | 5.83 |
| 3 | VOLLE, Frederic | 5 | フランス | 7 | 35 | 5.00 |
| 5 | SMAJLAGIC, Irfan | 4 | クロアチア | 6 | 31 | 5.17 |
| 5 | URDIALES, Alberto | 13 | スペイン | 7 | 31 | 4.43 |
| 7 | GOPIN, Valeri | 8 | ロシア | 6 | 30 | 5.00 |
| 7 | HAJAS, Erik | 7 | スウェーデン | 6 | 30 | 5.00 |
| 7 | THORSSON, Pierre | 11 | スウェーデン | 6 | 30 | 5.00 |
| 10 | SPENGLER, Daniel | 3 | スイス | 6 | 28 | 4.67 |
| 10 | KOUDINOV, Vassili | 9 | ロシア | 6 | 28 | 4.67 |
| 12 | BROWN, Derek | 6 | アメリカ | 5 | 26 | 5.20 |
| 12 | JOVIC, Bozidar | 5 | クロアチア | 6 | 26 | 4.33 |
| 12 | ALMARZOUQ, Salah | 13 | クウェート | 6 | 26 | 4.33 |
| 12 | DUJSHEBAEV, Talant | 10 | スペイン | 7 | 26 | 3.71 |
| 16 | EL ATTAR, Ahmed | 2 | エジプト | 5 | 25 | 5.00 |
| 17 | TORGOVANOV, Dmitri | 11 | ロシア | 6 | 24 | 4.00 |
| 18 | SAIDI, Redouane | 6 | アルジェリア | 5 | 23 | 4.60 |
| 18 | SCHWALB, Martin | 14 | ドイツ | 6 | 23 | 3.83 |
| 18 | KOULECHOV, Oleg | 5 | ロシア | 6 | 23 | 3.83 |
| 18 | HEATH, Darrick | 11 | アメリカ | 6 | 23 | 3.83 |
| 22 | EL GEIOUSHY, Amero | 13 | エジプト | 6 | 22 | 3.67 |

# 第1回ジャパンオープンハンドボールトーナメント
# 初代のチャンピオンは男子・香川選抜、女子・熊本クラブ

日本のハンドボール界において将来を展望する新しい施策として、第1回ジャパンオープンハンドボールトーナメントが、8月11日(日)より14日(水)まで(女子は13日まで)、大阪府堺市並びに高石市で開催された。大会はO－157騒動の渦中ではあったが、全国からブロック予選を勝ち抜いた男子32チーム、女子16チームが参加し熱戦を繰り広げ、男子が香川選抜、女子が熊本クラブの優勝で成功裡に終了した。なお、今大会に設定された最優秀選手賞には、男子が香川選抜の後藤聡選手、女子が熊本クラブの吉田ちはる選手が選ばれた。

**★大会経過**

大会は、開会式後男子は、みかん倶楽部(栃木)とホンダクラブ(三重)のスローオフで、女子は、小松クラブ(石川)とJUKI(東京)のスローオフで歴史の幕を開けた。

1回戦から今までには全日本総合でしか見られなかった他連盟加盟チームの戦いが繰り広げられた。男子では実績と実力を兼ね備えた香川選抜が順調に勝ち上がり、第1回大会を制した。また、ホンダクラブの喜井選手、ケー・エフ・シーの穂積選手など、40代半ばの選手の老獪なプレーも注目を集めた。女子では今大会有力と見られた京都教員、小松クラブを破ったJUKIなどに連勝し決勝に勝ち上がった熊本クラブが第1回大会を制した。また、1回戦で大逆転を演じた自衛隊体育学校はその後勢いに乗り、決勝まで駒を進めたが最後に力つきてしまった。

全体的には、連日の猛暑の中厳しい戦いであったため、チームの陣容を整えていたチームが勝ち上がった。準々決勝、準決勝は1日で行われたため特に厳しかった。この2試合を共に延長戦としたケー・エフ・シーは、ここで踏ん張り決勝に駒を進めた。

第1回大会開幕のスローオフ

## 《男 子》

**■1回戦**

男子1回戦は、堺市立金岡体育館、堺市立大浜体育館、堺市立初芝体育館、堺市立商業・第二商業高校体育館の4会場で行われた。1回戦の好カードを拾ってみると、まずはコザクラブ(沖縄)対湯沢ハンドボールクラブのクラブ勢同士の戦い。前半互角の勝負から後半のわずかな差で抜け出たコザクラブの3点差勝ち。次は小松クラブ(石川)対セントラル自動車(神奈川)のクラブと実業団の戦い。セントラル自動車は前半小松にリードを許すものの、追いついて前半互角の勝負。後半に入り、小松の走りが冴え、一挙にスパートして勝負を決める。埼玉フェニックス(埼玉)対那賀クラブ(和歌山)は教職員とクラブの戦い。那賀クラブは一歩及ばず3点差の敗退。

**■2回戦**

2回戦は堺市立商業・第二商業会場を除く3会場で行われた。コザクラブ対小松クラブは、前半小松クラブがリードするが、後半コザクラブが走りまくって逆転し、後半の大量点で快勝した。埼玉フェニックスとエルムクラブ(北海道)は、エルムクラブがいま一歩及ばず1点差で敗退。福岡教員(福岡)と境港クラブ(鳥取)は教職員とクラブとの戦い。境港クラブが後半追いつき、本大会初の延長戦となったが、惜しくも3点差で敗れた。香川選抜(香川)と福島クラブ(福島)は共に昨年度の国体で活躍したチーム。力のこもった一戦であったが、福島クラブが後半頑張るも一歩及ばず4点差で敗退。

3回戦に進んだチームを見てみると、クラブが2チーム、実業団が2チーム、教職員が4チームとなった。

**■3回戦**

3回戦からは男子は金岡体育館1会場での実施となった。第1試合はホンダクラブ(三重)とコザクラブとの対戦。コザクラブはホンダクラブの老獪さに前半リードを許した。後半若さで追いつくかに見えたが、惜しくも届かず1点差で涙をのんだ。ケー・エフ・シー(大阪)と熊本教員(熊本)は実業団と教職員の戦い。ケー・エフ・シーが前半のハンデを追いつき延長に持ち込んだ。延長後半にケー・エフ・シーが熊本教員を突き放し準決勝に進んだ。埼玉フェニックスと日新製鋼呉鉄球会(広島)も教職員と実業団の対戦。前半互角に戦うも、後半日新息切れで埼玉の勝利となった。香川選抜と福岡教員は教職員同士の戦い。香川教員が前半安定した攻守を見せ無難に勝ち進んだ。

ベスト4は、クラブ1チーム、実業団1チーム、教職員2チームとなった。

**■準決勝**

3回戦、準決勝は共に8月13日に行われ、勝ち進んだチームは1日2試合という過酷なゲームとなった。特に、ケー・エフ・シーがこの2試合とも延長戦となる激戦であったが勝ち抜き、決勝に進んだ。

**■3位決定戦**

本田クラブと埼玉フェニックスの戦いとなった3位決定戦は、前半開始から両チーム気合いの入った試合となった。本田のディフェンスを埼玉はなかなか崩すことができず、逆に速攻をかけられる展開となった。前半中盤、本田はディフェンスの足が止まり、2名の退場者を出した。その間に埼玉は得点を重ね、前半は19－12と本田が7点をリードして終了した。後半入り、疲れの見えた本田に対し、埼玉はNo.4亀井のシュートなどで追い上げたが、本田GK大畑に要所を阻まれ、結局35－25で本田クラブが勝利を収めた。

**■決勝**

記念すべき第1回大会の王座をかけた決勝は、地元大阪のケー・エフ・シーと全国教職員大会の覇者・香川選抜の戦いとなった。前半立ち上がりケ

男子優勝の香川選抜

ー・エフ・シーは№７吉田、№８萩原のシュートで対抗し、一進一退の展開であった。しかし、中盤以降、香川選抜の速攻が出始め、連続ゴールを奪い、一気に９点をリードし前半を終えた。後半のスタートは、ケー・エフ・シーがセットプレイで２連続ゴールを奪い会場を沸かせたが、香川選抜№４後藤の活躍とＧＫ高木のナイスセーブからのスピーディな速攻で着実に加点し、37－24で栄えある勝利をものにした。

## 《女　子》

### ■１回戦

女子は大阪府立臨海スポーツセンターで８月13日まですべての試合が行われた。開幕試合は小松クラブ(石川)とＪＵＫＩ(東京)のクラブと実業団で行われた。注目の一戦であったが、ＪＵＫＩが接戦を制して勝ち上がった。第２試合も注目の一戦。熊本クラブ(熊本)と京都教員クラブ(京都)のクラブと教職員の戦い。京都教員は教職員大会を何度も制している強豪。前半熊本クラブが吉田らの活躍で13－７と差を付ける。後半は京都教員が追い上げるが、及ばず26－23で熊本クラブが勝ち上がった。

１回戦最大のビッグゲームとなったのが、香川ＢＫ・ＴＨ(香川)と本大会唯一の自衛隊からの参加となった自衛隊体育学校(埼玉)の一戦。他にも自衛隊のチームは参加したのではあるが惜しくも予選で敗退し、本大会に駒を進めたのは、女子の体育学校のチームのみに留まった。試合の方は、国体でも活躍した四国の強豪香川ＢＫ・ＴＨが優位に進め、前半17－11とリードした。このまま終わるかに見えたが、後半自衛隊体育学校は体力にものを言わせた走りで速攻をものにし、６点差をひっくり返した。この逆転劇に会場を大いに湧かせた。

### ■２回戦

熊本クラブとＪＵＫＩの戦いは、前半17－９とリードした熊本クラブが、リードを守りきり27－22でＪＵＫＩを下した。仕事人(大阪)と名古屋クラブ(愛知)の一戦は、後半の攻勢で仕事人が勝ち上がった。日立栃木ＯＧのオレンジクラブ(栃木)と徳山クラブ(山口)の一戦は、後半オレンジクラブの老獪な攻めで徳山クラブを一蹴した。自衛隊体育学校と滋賀クラブ(滋賀)の一戦は、自衛隊体育学校が得意の速攻で走りまくり、滋賀クラブを一蹴した。

ベスト４には、自衛隊１チーム、クラブ３チームが進出し、教職員、実業団は０となった。

### ■準決勝

準決勝の第１試合、熊本クラブと仕事人のゲームは、共に攻撃力を売り物にしたチーム同士の対戦となった。序盤はＧＫ水口からのナイスセーブからの速攻を中心に得点を重ねる仕事人のペースであったが、熊本クラブも早いパス回しからのコンビネーションプレーで得点し、１点差で前半を折り返した。後半立ち上がり、熊本クラブは４連続ゴールを決め、そのままリードを保って逃げきった。続く自衛隊体育学校とオレンジクラブの一戦は、前半の序盤からスピードあふれる速攻で得点を重ねる自衛隊のペースで進んだが、オレンジクラブも尾苗の強烈なシュートを中心に反撃、同点で折り返す。後半に入り、８分過ぎから自衛隊が５連続ゴールをあげて、徐々にリードを広げ、39－31でオレンジクラブを下した。

### ■３位決定戦

オレンジクラブと仕事人の対戦となったが、立ち上がりは互角の展開。しかし５分頃からオレンジクラブが板谷のポストシュートを皮切りに３連続ゴールを上げてペースをつかみ、その後も着実に得点を重ね、前半で大差をつけて勝負を決めた。仕事人も、後半・白鳥のシュートなどで互角に戦ったが、前半の大差はいかんともしがたかった。

### ■決勝

決勝は、スピートが持ち味の自衛隊体育学校とパワーあふれる熊本クラブの顔合わせとなった。立ち上がり両チームとも硬さが見られたが、熊本クラブは鋤崎のポストプレイ、森田のシュートなどで加点、前半６点をリードして折り返した。後半に入り、自衛隊も森下の活躍で３点差まで詰め寄るが、熊本クラブも粘りを見せ、その後一進一退の展開となり、熊本クラブがリードを守り切って栄えある第１回大会の優勝杯を手に入れた。

女子優勝の熊本クラブ

## ★大会の話題から

### ●ハンドボールの「仕事人」

今大会女子の部で、開催地(大阪)代表で「仕事人」という名前のチームが出場した。

チーム名の多くは、地域の名前、出身母体の名前が中心となっている。今回、この「仕事人」という名前はこれまでに無かったような名前で、どこのチーム？　どんなチーム？　との声が上がった。種明かしをすると、このチーム以前の四天王寺クラブが発展してできたチーム。メンバーは、ナショナルチームで活躍した市来選手を中心に、大林まり選手などが名を連ねている。成績は堂々の４位に入った。インターハイでは後輩の四天王寺高校が優勝し、今年の夏は四天王寺フィーバーとなった。

### ●敵はＯ－157？

今大会最大の関心事はＯ－157による食中毒問題。地元堺市では全国最大の患者数を出し、開催にあたっては最大細心の注意が払われた。日本協会でも、参加各チームに堺での予防対策を連絡するなど対応に追われた。またこれに関連して、この夏行われる各全国大会にも食中毒予防対策を呼びかけた。堺市では大会期間中の弁当はすべてパンと缶ジュースあるいは缶コーヒーとなり、従来の仕出し弁当は高石市のみとなった。参加者には、ご飯がないと力が出ないとの声もちらほら？

また、体育館内や役員室には消毒液が設置され、万全な対策が講じられていた。

地元堺市民からは、「今全国で一番対策が講じられているので全国で一番安全なところだ」との声もあった。

### ●堺市内ではひっそりと

Ｏ－157問題で全国から注目されている堺市では、町中になみはや国体の看板が目につく程度。市民感情にも配慮してとのことであったが、式典、飾り付けは質素に行われた。対して高石市では、会場入り口から「第１回ジャパンオープンハンドボールトーナメント」のアーチが取り付けられ、華やかな会場の雰囲気となっていた。

### ●堺仁徳ライオンズクラブよりカップの寄贈

堺仁徳ライオンズクラブは少年相撲、ＪＯＣカップハンドボール大会に協賛をいただいているが、今回第１回ジャパンオープンハンドボール大会の開催を記念してカップを寄贈頂きました。

### ●式典に手話通訳

堺市では、開会式、閉会式の式典アナウンスに手話通訳が付けられていた。ハンドボールの広がりを考える上で、障害者の方々にもハンドボールを楽しんでいただくために手話通訳を付けていただけることは大変にありがたいことである。これを機会に障害者の方々にもハンドボール会場に足を運んでいただけるようにしたいものである。

# 1997男子世界選手権大会

# 熊本ニュース

## 世界ハンド号走る

熊本市の夏の一大イベント「火の国まつり」。3万人の熊本市民による「おてもやん総おどり」など連日多彩な催しが行なわれますが、この祭りムードを盛り上げるのが、市内幹線を走る市電を装飾した花電車。今年は、いよいよ来年に迫った「世界選手権」をモチーフに飾られ、8月1日～13日、朝から夜遅くまで走り、多くの市民の目を引きつけました。

## ひゅうた倶楽部活躍

夏休み、各地で夏祭りが催されましたが、各地の祭りでひゅうた倶楽部が大会PRに大活躍。連日の暑さにも負けず、新規会員募集や大会告知に汗を流しました。また、8月13日の日の国まつりおてもやん総おどりには多数の会員が参加。魚住、岩本両選手や渡邊大会組織委員会副会長（日本ハンドボール協会副会長）、飛勇太を先頭に世界ハンド踊り隊が目抜き通りを練り歩き、大会開催を大いにアピールしました。

## NHKがテレビ放送を決定

NHKは来年5月に熊本で開催される'97男子世界選手権を放映することを、小口崇彦NHK熊本放送局長が福島知事に伝えた。

テレビ放映は7月8日、同大会組織委員会副会長を兼ねる福島知事が上京し、日本協会渡邊副会長とともに、NHK川口幹夫会長に要望していた。

小口・熊本放送局長によると、放映日程や使用チャンネル、対戦カードなどを盛り込んだ放送計画、放映権料を含めた契約内容は、今後、同組織委員会とNHKで詰める子とになっている。

同局長は「決勝戦などメーンの試合は全国中継することになるだろう。また、ヨーロッパではハンドボールの人気が高いと聞いており、国際映像についても前向きに検討する」と話している。また、福島知事は「なるべくたくさんの試合を放映していただきたい。これからお互いよく連絡を取り合ってやっていきたいのでよろしくお願いしたい」と話している。

## ひゅうた倶楽部通信VOL2発行

スタッフミーティングで今後の活動方針などを話し合っていた「ひゅうた倶楽部」のメンバーが原稿やイラストを書いた「通信VOL2」が完成し、また、メンバーの発送作業により全国約410人の会員へ届けられました。今後もメンバーによる楽しい企画が計画中です。会員になって大いに楽しもう。

# 世界選手権フレンドシップ'97 協賛者ご紹介

世界選手権フレンドシップ'97の募金をお願い申し上げましたところ、早速、多くの方々から募金のご協力をいただき、ありがとうございます。ここにその方々のお名前、チーム名をご紹介させていただきます（9月7日現在です）。引き続き、多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

（大阪府）東　嘉伸
（三重県）笹川ハンドボール少年団
（三重県）栗本士郎
（東京都）佐藤佳子
（大阪府）木田武夫
（熊本県）熊本クラブ（井出）
（東京都）江成元伸
（愛知県）中島正貴
（岩手県）佐藤睦朗
（青森県）太田尚充
（青森県）鳴海　満
（青森県）川島卯大郎
（鹿児島県）井料たか子
（青森県）福士義昭
（青森県）渡辺信行
（神奈川県）真田　元
（大阪府）四方洋子
（福島県）中島寿美
（東京都）兼子　真
（茨城県）筑波大学女子ハンドボールOG会
（千葉県）河村レイ子
（茨城県）藤沢邦彦
（高知県）岡本憲和
（大阪府）森本正毅
（青森県）滝口　太
（熊本県）村上建二
（神奈川県）村松英美

## 飛勇太ポンキッキーズに登場

毎朝（月～金）8時から放送されている「ポンキッキーズ」の全国キャラバン隊が熊本を訪れ、菊池郡泗水町の孔子公園から全国中継が行なわれた。この中継に飛勇太が登場し、ガチャピン、ムック、ピーちゃんと一緒に、ジャナイージムナスチック（体操）やジャガジャガジャンケンを来場した8千人の子どもたちと楽しんだ。この模様はフジテレビ系列で全国に生中継された。

# 1997年男子世界選手権大会熊本 入場料金

| 番号 | 入場券の種類 | 販売価格（円） | | 前売券販売期間 | 前売券販売所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 前売券 | 当日券 | | | |
| 1 | 記念入場券（通し券） | 10,000 | なし | 96.10.01 − 96.12.31 | 組織委員会 | |
| 2 | 開会式入場券 | 3,000 | なし | 96.10.01 − 97.05-16 | 組織委員会 主要プレイガイド | |

**1　記念入場券**

●内容　大会を記念して発行される入場券で、すべての会場とすべての期日の自由に入場できる通し券です。

●材質　カード型ラジオに記念入場券（通し券）である旨を印刷したものです。

●機能　メイン会場となるパークドーム熊本では、FMイベント放送による実況中継を行う予定としていますが、この放送を聞くことができる機能をを持たせています。

●発売枚数

限定2,000枚

●販売方法

事務局直接販売のみです。先着順に受付、枚数に達し次第締め切ります。

はがき又はFAXでの申し込みも受け付けます。その際発送費は申込者負担となります。

**2　開会式入場券**

●内容　5月17日、オープニングセレモニーとオープニングゲームを観戦できる入場券です。

●販売方法

事務局直接販売及び全国主要プレイガイドで販売します。

**3　各種割引制度**

●小・中・高校生及び身体障害者手帳・療育手帳所持者　50%割引
（ただし、記念入場券には適用しない。）

●15名以上の団体が一括して購入する場合　20%割引
（ただし、記念入場券、50%割引入場券には適用しない。）

※上記いがいの入場券につきましては、来年1月の発売予定で、券の種類・金額が確定次第、別途お知らせします。

（問い合せ先）　1997年男子世界ハンドボール選手権大会熊本事務局　広報誘客部　黒田
TEL096-352-1997　FAX096-352-1991

第21回日本リーグのスタートにあたって

# 日本リーグの理念・未来を考える

日本ハンドボールリーグ運営委員会副委員長　鵜沢　潔

日本リーグは20年の歴史の節目を越え、中長期的なビジョンを持って21回目の日本リーグを9月にスタートさせた。

今シーズンの日本リーグの位置付けは明らかにこれまでとは違う流れの中にある。オリンピックの国際舞台にはミュンヘン以来5回連続出場の後シドニーまで12年間の空白ができてしまった男子代表。そしてモントリオール以来五輪出場においては24年間の空白のまま、アジアの壁を破れない状況の女子日本代表。その中で、男子代表にはアイスランドでの世界選手権以来、待望久しい国際舞台での活躍の場が来年5月にある。あらためて説明するまでもなく、世界の各大陸から24か国の強豪が集まり、予選から決勝まで延べ80試合行なわれる熊本男子世界選手権だ。メディア的にも各試合が国際映像として制作され、サッカーのW杯のように海外に発信されるビッグな大会だ。その最高の舞台に男子日本代表が立つ。その状況の下、第21回の日本リーグは男子代表選手の強化に連動し、日本のハンドボールのレベルを高めることをテーマとして展開したい。また、そうでなければいけない。

今シーズンはアジアやヨーロッパからその国を代表する優秀な外国人選手が多く加入することから、日本人選手はさらなる活躍を期待したい。それは日本リーグが、外国人選手の攻撃に耐えられるディフェンス力を身につけたり、高くて幅のある外国人選手DFの上から得点したり、外国人DFを翻弄するフェイント技術などを身につける強化の場そのものでもあるからだ。

また、そうした意味での延長として密着マン・ツー・マンDFなどの作戦面で男子リーグの各チームコーチングスタッフは「日本リーグは世界選手権などへの強化の場」として理解し、控えられないか。さらに、代表選手に選ばれている選手には得点ランキングの上位に顔を連ねることを強く希望する。

今春、日本リーグは理念を3項目掲げた。まずひとつには、地域に密着した展開、第二に、国際レベルでの競技力向上、第三に次世代の子どもたちへ夢のある環境づくりとしている。もちろん今すぐに実現できるほど簡単なものではないが、長期的なビジョンを持ち、ハンドボール全体像を盛り上げながら、着実に実現に向かって歩き始めようとしている。

その一例が、この夏に東京体育館で開催された、小・中・高校生などジュニア層参加型のプレシーズンフェスティバルの実施である。

今回が2回目で、中・高校生の試合に日本リーグの選手が参加チームのベンチに入ってアドバイスを送るなどした。また、リーグ勢同士の迫力ある試合もコートサイドで観戦するなどして、子どもたちと選手が接することによりお互いに得るものが大きかったようだ。今後は、日本リーグの監督、選手、OBが各地域や学校へ指導に行く企画を持っていて、それを実施する予定である。

さて、日本リーグは企業がバックアップして成り立っているのは言うまでもないことだが、ハンドボールの人気や認知度を高めるにも理念の3項目を踏まえて各チームと運営機構側が中長期的な構想を持ちながら、その実現に向かいたい。

これまでリーグ各チームのフロントは勝敗結果だけで現場を判断する傾向が強かった。それはハンドボール界の内側の判断で、ハンドボールを取り巻く周囲の世界を含めた全体像とは相関関係にないし、世の中の評価はまったく別なところにある。

ただ単に、チームが勝つか負けるかの見方だけでなく、試合を観戦にきたファンやサポーターをいかに満足させたか。TV放映においては、ブラウン管の向こうの視聴者がどう評価するか、もう一度ハンドボールの試合を観たいという気持ちを引き出せるかが、メジャースポーツへ向かう上でも最も重要な価値基準である。

リーグの展開においても質の高い大会運営はもちろんだが、アグレッシブなパフォーマンスと高度

な内容のゲームこそ地域のファンや子どもたちが最も望んでいるものであることは間違いないし、会場に足を運んでくれた方々に感動を与えることこそ選手やチーム、運営側の義務なのだと考えたい。
　そうでなければ、新しい理念のもと、リーグに参加している意味合いはないし、これまでと同じく自己満足的なものとなって相変わらずのマイナーな国内リーグで終わってしまう。
　新聞、TVによる報道であるように、20年後には4人に1人が60歳以上の老人である高齢化社会と今現実に起きている少子化社会。ハンドボールの競技人口の減少も今のままでは相当な速さで確実に進行していくことが考えられ、危機感を抱かざるをえない。
　今後、日本リーグは企業だけのスポーツという認識を捨て、スポーツを通したコミュニケーションやふれあいを真剣に考える必要がある。少しでもそれを実践することによって、そのことが近い将来、その企業に必ず返って生きてくると考えたい。バブルの時代にしきりと企業は社会還元をうたったが、お金をかけなくてもスポーツを通して（ハンドボール）地域社会とコミュニケーションをできれば、それはそれで立派なメセナ活動である。そして、高齢の方や障害のある人々を含めて仲間として誰もが互いに助け合うことの大切さを認識しながら、スポーツを展開できるようになった時、初めてスポーツし「文化」といえるようになるであろう。
　21世紀へ向けて日本リーグは、「理念」に基づいて展開すると同時に、自チームのエゴにとらわれずに、このスポーツの全体像を常に意識していく集合体でありたいと願う。
　そして、時代と世の中の流れについていけるだけの改革をみんなのために行なうべき状況が今、日本リーグにはあるのだ。

**プログラム訂正**

第21回日本ハンドボールリーグ・プログラム8Pのプレーオフ日程表に誤りがありました。お詫びとともに左記のように訂正いたします。

## プレーオフ日程訂正表

| 月　日 | 開催地 | 会　場 | 組み合わせ |
|---|---|---|---|
| 1　月<br>10日(金) | 東　京 | 東　京<br>体育館 | 18:00～①女子・プレーオフ準決勝<br>《通算2位×通算3位》<br>19:30～②男子・プレーオフ準決勝<br>《通算2位×通算3位》 |
| 1　月<br>11日(土) | 東　京 | 東　京<br>体育館 | 16:00～　女子・プレーオフ決勝<br>《通算1位×①の勝者》<br>18:00～　男子・プレーオフ決勝<br>《通算1位×②の勝者》 |

### 第21回日本ハンドボールリーグ東京シリーズ及び広島大会・プレーオフ大会TVKテレビ中継

| 開催日 | 開催場所 | 試合時間 | 放映時間 | 対戦カード　（左側：ホーム） |
|---|---|---|---|---|
| 9月21日(土) | 東京体育館<br>メインアリーナ | 15:00～<br>16:30～ | 25:00－26:30<br>16:35－18:00 | 三景 VS 日本電装 男子2<br>三陽商会 VS 大同特殊鋼 男子1 |
| 9月22日(日) | 東京体育館<br>メインアリーナ | 11:30～<br>13:00～<br>14:30～ | <br>16:35－18:00<br>22:00－23:00 | 三景 VS トヨタ自動車 男子2<br>中村荷役 VS トヨタ車体 男子1<br>三陽商会 VS 日新製鋼 男子1 |
| 9月28日(土) | 駒沢屋内球技場 | 16:00～ | ―――― | 中村荷役 VS 本田技研 男子1 |
| 10月22日(火) | 東京体育館<br>メインアリーナ | 18:00～<br>19:30～ | 18:15－19:30<br>19:30－21:00 | 三陽商会 VS 本田技研 男子1<br>中村荷役 VS 湧永製薬 男子1 |
| 10月23日(水) | 東京体育館<br>メインアリーナ | 18:00～<br>19:30～ | 18:15－19:30<br>19:30－21:00 | 三景 VS 大阪ガス 男子2<br>三陽商会 VS 中村荷役 男子1 |
| 10月29日(火) | 川崎市<br>とどろきアリーナ | 18:00～<br>19:30～ | 18:15－19:30<br>19:30－21:00 | 三景 VS トクヤマ 男子2<br>三陽商会 VS 湧永製薬 男子1 |
| 10月30日(水) | 川崎市<br>とどろきアリーナ | 18:00～<br>19:30～ | ―――― | シャトレーゼ VS ジャスコ 女子1<br>中村荷役 VS 大同特殊鋼 男子1 |
| 11月3日(日) | 船橋市総合体育館 | 13:00～<br>14:30～ | 16:35－18:00<br>18:30－20:00 | 中村荷役 VS 日新製鋼 男子1<br>三陽商会 VS 大崎電気 男子1 |
| 11月6日(水) | 東京体育館<br>メインアリーナ | 19:00～ | ―――― | 三景 VS 本田技研熊本 男子2 |
| 12月14日(土) | 川崎市<br>とどろきアリーナ | 15:00～<br>16:30～<br>18:00～ | <br>16:35－18:00<br>25:00－26:30 | 三景 VS 北陸電力 男子2<br>三陽商会 VS トヨタ車体 男子1<br>中村荷役 VS 大崎電気 男子1 |
| 12月19日(木) | 広島市東区<br>スポーツセンター | 18:00～<br>19:30～ | 18:15－19:30<br>19:30－21:00 | 日新製鋼 VS 大同特殊鋼 男子1<br>湧永製薬 VS 中村荷役 男子2 |
| 12月23日(祝) | 府中市立<br>総合体育館 | 13:00～<br>14:30～ | 13:00－14:30<br>14:30－16:00 | 三景 VS アラコ九州 男子2<br>中村荷役 VS 三陽商会 男子1 |

### 第21回日本ハンドボールリーグプレーオフ大会

| 開催日 | 開催場所 | 試合場所 | 放映時間 | | 対戦カード　（ステップラダー方式） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成9年<br>1月10日(金) | 東京体育館<br>メインアリーナ | 18:00～<br>19:30～ | 生放送 | 準決勝 | 女子 | リーグ2位 VS リーグ3位 |
| | | | | | 男子 | リーグ2位 VS リーグ3位 |
| 1月11日(土) | | 16:00～<br>18:00～ | 生放送<br>又は録画 | 決勝 | 女子 | リーグ1位 VS 準決勝勝者 |
| | | | | | 男子 | リーグ1位 VS 準決勝勝者 |

# 『熱き闘志を燃やせ！水と緑の岐阜の地で！』をスローガンに

## 男子 井高野中学（大阪）、女子 松橋中学（熊本）が優勝

大会審判委員長　溝口　博一

「鵜飼い」で名高い清流長良川と金華山に堂々たる風格を放つ岐阜城に見守られる中、近代的な設備を誇るメモリアルセンター「で愛ドーム」「ふれ愛ドーム」で『熱き闘志を今燃やせ！水と緑の岐阜の地で』のスローガンのもとに、第25回全国中学校ハンドボール大会が盛大に開催されました。この大会が岐阜市で開催されるのは2回目であり、岐阜県、岐阜市のハンドボール競技に対する熱意が、ひしひしと伝わってきます。

見事全国制覇され、全国の中学生の羨望の的となりました、男子、大阪市立井高野中学校、女子、熊本県松橋町立松橋中学校のみなさん、おめでとうございます。惜しくも、第2位となりました、男子、沖縄県浦添市立神森中学校、第3位、三重県四日市市立朝明中学校、石川県根上町立根上中学校、女子、第2位、岐阜県高山市立日枝中学校、第3位、富山県氷見市立十三中学校、福井県福井市立大東中学校のみなさん、健闘を称えます。

ここまでの道のりは辛かったと思います。よくぞ、ここまで自分自身の身体、精神面を高めることが出来たと思います。心から拍手を送りたい気持ちで一杯です。

生徒の努力もさることながら、指導者の方々が多感な年頃で心身共に発育、発達の途上にある中学生に対して、単に、技術向上のみならず、精神的な面においても、適切な指導をされた賜物であると思われます。そうした指導者の方々の熱意と研究に敬意を表したいと思います。今後は、正しいルールに基づいた技術向上とハンドボールのメジャー化を、ますます向上させるために、指導者としてのマナーも今まで以上に高めていって頂きたいと思います。

中体連の大会においては、予算面での問題が大きなネックになります。とりわけ、今大会では、メモリアルセンターの使用、宿泊等と大変なご苦労があったかと思われます。資金面においては、岐阜県ハンドボール協会の多大なる御協力があったかと思います。宿泊関係については、昨年度までは、大会実行委員会が旅行業者との連携により宿泊先を確保して、各チームに対応出来るように計画が進められてきましたが、チームによっては、実行委員会を通さずに宿泊先を決めてしまったりするために、せっかく、実行委員会が宿泊先を確保しても利用されずに終わってしまうことが多く、実行委員会と旅行業者との努力がむくわれないことが多くありました。

そこで、本年度は、宿泊先決定は必ず実行委員会の斡旋によることを、大会要項に明記するとともに、全国の各中体連とブロック部長より、出場校に呼び掛けをしたところ、ほとんどの出場校に、御協力を頂くことが出来、大会実行委員会は大変感謝しておりました。

しかし、今後の開催にあたり、開催地の宿泊施設の数、競技会場から宿泊先への地理的な問題等、まだまだ解決しなければならないことが多く残されています。

今大会において、特に感じたことは、実行委員会の先生方が中学校の先生ばかりでなく、高校の先生も多かったことと、補助員の生徒も中学生と高校生であったことです。その中で、中学校と高校の先生方の仲の良さから生まれる見事なチームワークと中学生と高校生が一体化して、まるで兄弟のような雰囲気で役割を果たしている姿が印象的でした。そして、補助員の生徒が会場のいたるところで、案内係りをつとめたり、フロアーへの出入口で、上履きと下履きを、いつもきちんと整頓したりしている姿や炎天下の会場周辺で案内係りや清掃等を、さわやかな表情で、大会関係者や全国のチーム、保護者達に、「こんにちは」「ご苦労さまです」「頑張ってください」と声を掛けていたことに、深い感動を覚えました。これも指導者の方々の日頃の御指導の賜物であると、心から敬意を表します。

全国から勝ち抜いた選手達のプレイを最大限に発揮させるとともに、日本のハンドボール界の将来を考える上で、審判技術の問題を抜きでは考えられません。第21回大会から㈶日本ハンドボール協会審判委員会の御理解と御協力により、審判団を中学校の先生で構成することが出来るようになりました。大変感謝致しております。

しかしながら、新たな課題も生まれて来ました。それは、プレイそのものが社会人と同じようなレベルに達してきているものの、発育、発達の途上にある中学生に社会人と同じような判定をして適切であるかどうかです。特に、身体面については、まだまだ子供です。中学生の段階で、一生運動制限を余儀なくされたり、一生運動が出来ない体になったりしてはハンドボールの発展にもつながりません。

まだまだ、メジャーなスポーツとは言えないハンドボールにとっては、ますますマイナスになってしまいます。

中学生の試合では、クリーンなハンドボールを目指すための、第一段階でなければならない。そのためには、アドバンテージをどこまで認めていくかが重要なポイントになると考えます。

そのために、本年度より、審判会議の後に(財)日本ハンドボール協会審判委員会の資料をお借りして、審判研修会を行いました。そして、試合終了後には本日の各試合の判定についてディスカッションを行うなどして、中学生の審判技術の向上に努めることが出来ました。さらに、審判総務委員の方によって、準決勝、決勝をビデオに撮って頂きました。これをルール研究会で編集して頂き、来年度の中学校全国大会時での審判研修会の資料として活用出来るように計画をしています。

終わりに近づいてまいりましたが、大会実行委員会の御苦労もさることながら、全国のブロック部長の役割も重要なポジションにあります。全国の中学生への普及、強化の面の対策、各中体連、各都県の協会とのパイプ役、全国大会の運営、大会実行委員会との連携等数多く、こなさなければなりません。そのためには、ブロック部長として、ある程度継続していくことが不可欠です。しかしながら、各ブロック中体連によっては、2年ないし、3年の任期しかないことがあります。このような問題を抱えながら、競技部長をはじめ各ブロック部長は、校務多忙の中、連絡を密にして、中体連を盛り上げようと努力を重ねています。

本年度より、中体連のOB、OG会が発足し、大会初日盛大に開催されました。諸先輩方の当時の御苦労を聞かせて頂き、大変有意義な時を過ごすことが出来ました。今後もこのような会が継続して、さらに広がっていけば、中体連がますます発展していくことと思います。

最後になりましたが、素晴らしいチームを育てられた学校関係、保護者の方々の御指導と熱意に敬意を表します。また、審判団構成については、(財)日本中体連ハンドボール競技部の意向をくんで頂いた(財)日本ハンドボール協会審判委員会の方々の御協力に深く感謝致します。

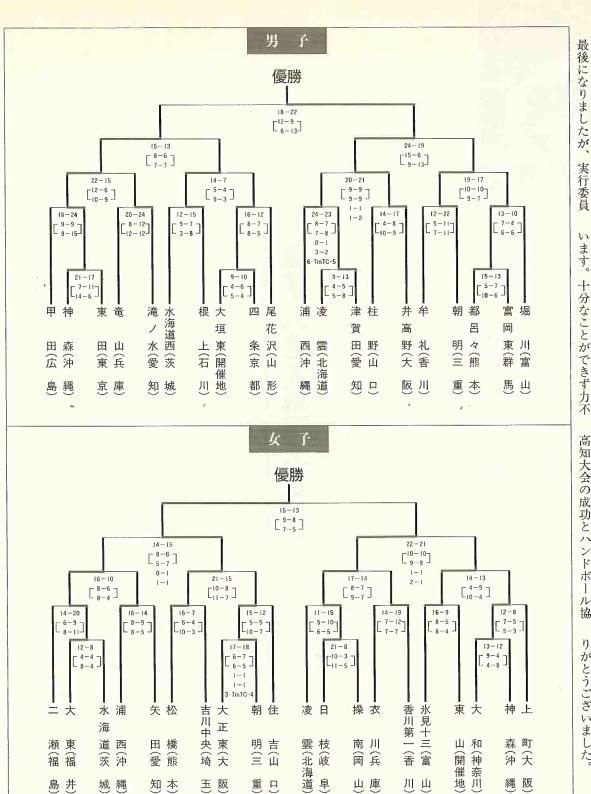
今大会の開催にあたり、御尽力を頂いた関係諸機関、団体等の多くの方々、地元中学生、高校生の皆さんに厚く御礼申し上げます。

## 無事大会を終了させて…

岐阜県ハンドボール実行委員会事務局　上野　毅

8月22日～25日、平成8年度全国中学校体育大会兼第25回全国中学校ハンドボール大会が「熱き闘志を今燃やせ！　水と緑の岐阜の地で」のスローガンのもと、全国9ブロックの代表40チーム、600余名の選手が参加し、岐阜県民体育館・岐阜メモリアルセンターで開催され、関係の皆様のご支援・ご協力をえて無事終了することができました。

4年前に今大会の開催決定を受けて、県教育委員会、県ハンドボール協会、県中体連等のご指導をいただきながら、中体連専門部を中心に大会成功に向けて取り組んでまいりました。岐阜県は9年前にも第16回全国中学校ハンドボール大会を開催しており、2回目の開催でした。したがって、前回の資料をひもときながらのスタートでした。しかし、チーム数の増加、使用施設の違い、外部コーチのベンチ入り可、必要経費の増額など前回とは違った面も多くあり、不安を抱きながらのスタートでもありました。一方競技力の強化の面では、岐阜県の中学校のハンドボールは第1回大会・第2回大会こそ3位以内入賞がありましたが、それ以後好成績はなく、最近では東海ブロック大会を勝ち抜くこともできない状態でした。それだけに専門部としては、本大会への取り組みを通して少しでも競技レベルを向上させたいといった意気込みと、同時に全国の競技レベルに近づけられるのかといった不安を抱きながらのスタートでした。こうした中で、大会の本番を迎えたのであります。

幸いにも、本大会は関係機関・団体の関係者各位の多大なご支援・ご協力により、数々の感動を残して無事に終了することができました。しかも、女子の部におきましては地元高山市立日枝中学校が準優勝を獲得するといった活躍もあり、大いに会場を盛り上げてくれました。ハンドボールを初めて観戦した多くの方々が、本当に面

白い競技であるといった感想をもっていただけましたことも、開催県として意義のある大会であったと思っております。

最後になりましたが、実行委員会が一丸となって運営に、競技力の強化に取り組んできました。しかし、皆様にご満足のいただける大会運営とはならなかったかと思います。十分なことができず力不足の事務局でしたが、長期間にわたりご支援・ご指導いただきました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。また平成9年度第26回高知大会の成功とハンドボール協会、中学校体育連盟、ならびにハンドボール競技が今後ますます発展することを祈念してお礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

## 男子

優勝

出場校：甲田（広島）、神森（沖縄）、東田（東京）、竜山（兵庫）、滝ノ水（愛知）、水海道西（茨城）、根上（石川）、大垣東（開催地）、四条（京都）、尾花沢（山形）、浦西（沖縄）、凌雲（北海道）、津賀田（愛知）、柱野（山口）、井高野（大阪）、牟礼（香川）、朝明（三重）、都呂々（熊本）、富岡東（群馬）、堀川（富山）

- 神森 21-17〔7-11、14-6〕東田
- 甲田 18-24〔9-9、9-15〕（神森・東田の勝者）
- 竜山 20-24〔8-12、12-12〕滝ノ水
- 22-15〔12-6、10-9〕
- 水海道西 12-15〔9-7、3-8〕根上
- 大垣東 9-10〔4-6、5-4〕四条
- （大垣東・四条の勝者）16-12〔8-7、8-5〕尾花沢
- 14-7〔5-4、9-3〕
- 15-13〔8-6、7-7〕
- 凌雲 9-13〔4-5、5-8〕津賀田
- 浦西 24-23〔8-7、7-8、0-1、3-2、6-7mTC-5〕（凌雲・津賀田の勝者）
- 柱野 14-17〔4-8、10-9〕井高野
- 20-21〔9-9、9-9、1-1、1-2〕
- 牟礼 12-22〔5-11、7-11〕朝明
- 都呂々 15-13〔5-7、10-6〕富岡東
- （都呂々・富岡東の勝者）13-10〔7-4、6-6〕堀川
- 19-17〔10-10、9-7〕
- 24-19〔15-6、9-13〕
- 決勝 18-22〔12-9、6-13〕

## 女子

優勝

出場校：二瀬（福島）、大東（福井）、水海道（茨城）、浦西（沖縄）、矢田（愛知）、松橋（熊本）、吉川中央（埼玉）、大正東（大阪）、朝明（三重）、住吉（山口）、凌雲（北海道）、日枝（岐阜）、操南（岡山）、衣川（兵庫）、香川第一（香川）、氷見十三（富山）、東山（開催地）、大和（神奈川）、神森（沖縄）、上町（大阪）

- 大東 12-8〔4-4、8-4〕水海道
- 二瀬 14-20〔6-9、8-11〕（大東・水海道の勝者）
- 浦西 16-14〔8-9、8-5〕矢田
- 16-10〔8-6、8-4〕
- 松橋 16-7〔6-4、10-3〕吉川中央
- 大正東 17-18〔6-7、6-5、1-1、1-1、3-7mTC-4〕朝明
- （大正東・朝明の勝者）15-12〔5-5、10-7〕住吉
- 21-15〔10-8、11-7〕
- 14-15〔8-6、5-7、0-1、1-1〕
- 日枝 21-8〔10-3、11-5〕操南
- 凌雲 11-15〔5-10、6-5〕（日枝・操南の勝者）
- 衣川 14-19〔7-12、7-7〕香川第一
- 17-14〔8-7、9-7〕
- 氷見十三 16-9〔8-5、8-4〕東山
- 大和 13-12〔9-4、4-8〕神森
- （大和・神森の勝者）12-8〔7-5、5-3〕上町
- 14-13〔4-9、10-4〕
- 22-21〔10-10、9-9、1-1、2-1〕
- 決勝 16-13〔9-8、7-5〕

第39回全日本教職員選手権大会

# 男子は香川選抜（香川教員）、女子は神奈川教員Gabbianoが優勝

第39回全日本教職員選手権大会は、8月5日から8日まで埼玉県三郷市総合体育館・草加市スポーツ健康都市記念体育館・吉川市総合体育館の3会場で行われ、男子は香川選抜（香川教員）、女子は神奈川教員(Gabbiano)が優勝を飾った。試合結果は以下の通りである。

## 男子

■予選リーグA組

香　川　38－20　茨　城
香　川　37－18　静　岡
静　岡　30－29　茨　城

[順位]
①香川選抜（香川教員）
②静岡県教員団
③茨城コンドルズ

■予選リーグB組

岐　阜　21－21　埼　玉
岡　山　23－15　埼　玉
岐　阜　34－24　岡　山

[順位]
①岐阜教員
②岡山教員
③埼玉ライオンズ

■予選リーグC組

神奈川　22－17　愛知B
愛知B　39－11　和歌山
神奈川　44－10　和歌山

[順位]
①神奈川教員チーム
②愛知教員B
③和歌山教員チーム

■予選リーグD組

高　知　24－14　三　重
埼　玉　40－19　三　重
埼　玉　34－12　高　知

[順位]
①埼玉フェニックス
②高知クラブ
③三重教員ハンドボールクラブ

■予選リーグE組

埼　玉　34－16　群　馬
埼　玉　32－22　愛　媛
群　馬　26－21　愛　媛

[順位]
①埼玉教員クラブ
②群馬教員
③愛媛教員クラブ

■予選リーグF組

愛知A　37－17　東　京
愛知A　12－0　東　京

[順位]
①愛知教員A
②東京教員

■予選リーグG組

長　野　34－21　北海道
栃の葉　32－31　長　野
栃の葉　31－18　北海道

[順位]
①栃の葉クラブ
②長野教員クラブ
③北海道教員クラブ

■予選リーグH組

千　葉　37－16　イガヤ
京　都　51－14　イガヤ
京　都　33－17　千　葉

[順位]
①京都教員クラブ
②千葉教員
③イガヤクラブ

■決勝トーナメント1回戦

香　川　37－22　岐　阜
神奈川　30－22　埼玉フェ
愛知A　32－23　埼玉教員
京　都　28－15　栃の葉

■準決勝

香　川　25－15　神奈川
京　都　23－20　愛知A

■3位決定戦

愛知A　25－18　神奈川

■決勝

香　川　22－20　京　都

## 女子

■予選リーグa組

神奈川　28－13　三　重
三　重　28－20　香　川
神奈川　26－7　香　川

[順位]
①神奈川教員Gabbiano
②三重教員女子
③香川教員

■予選リーグb組

福　岡　21－12　大　阪
福　岡　29－20　栃の葉
大　阪　27－19　栃の葉

[順位]
①全福岡
②大阪教員
③栃の葉女子

■予選リーグc組

京　都　36－10　岐　阜
埼　玉　35－8　岐　阜
埼　玉　21－14　京　都

[順位]
①埼玉教員白小鳩
②京都教員クラブ
③岐阜教員女子

■予選リーグd組

山　口　16－10　千　葉
愛　知　25－11　千　葉
愛　知　23－15　山　口

[順位]
①愛知教員W－NS
②山口クラブ
③千葉クラブ

■準決勝

神奈川　29－9　福　岡
埼　玉　21－19　愛　知

■3位決定戦

愛　知　16－14　福　岡

■決勝

神奈川　23－16　埼　玉

# 第23回全国高専選手権大会

# 徳山高専が歓喜の初優勝を飾る

(社)全国高等専門学校体育協会
ハンドボール競技専門部委員長　古屋　正俊

『九州に燃え上がれ若人よ』を大会スローガンに全国62の高等専門学校からなる第31回全国高等専門学校体育大会が九州地区で開催された。実施14種目のうちハンドボールは8月10、11日の2日間、第23回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会として、来年の世界選手権の開催地、熊本県立総合体育館を会場に熱戦が展開された。

大会は3校ごとの予選リーグと、各予選リーグ1位校による決勝トーナメント方式。開会式は世界選手権の軽快なテーマソングの流れる中、全国各地の地区予選を勝ち抜いた12校が入場行進をし、開催校・八代高専ハンドボール部の城音寺誠主将が力強く選手宣誓を行なった。今回は世界選手権のプレ大会のひとつとして、熊本県協会をはじめ、世界選手権事務局からも強力な支援をいただく中での開催となった。さすがにハンドボールのメッカといえる熊本。地元の関心も高く、競技の一部は地元ラジオ局で実況されるなど、大変盛り上がりのある大会となった。

試合は、昨年の準優勝校の関東信越地区代表の長岡高専が、初日の予選リーグで敗退する波乱の幕開けとなったが、準決勝に進出した4チームは、いずれも危なげない安定した試合運びで予選リーグを勝ち上がってきた。昨年度の優勝校で連覇をねらう近畿地区代表・明石と初の決勝進出の中国地区代表・徳山の対決となった決勝戦は、大会史上初の延長にもつれ込む大接戦。1点を争う攻防の末、徳山高専が念願の初優勝を飾った。準優勝は明石高専。3位は中国地区代表の米子高専と地元開催校の八代高専となった。

準決勝の明石高専と米子高専の一戦は、米子の浜田、角永らの得点で序盤は互角の展開。12分頃から木内、田中、芝山の連続得点で明石が次第に攻撃のリズムをつかみ、その後も藤原、江草、永井らの連取で前半を5点差とする。後半になっても明石の攻撃のリズムは良く、GK大久保の攻守もからみ合い、速攻、セットと幅のある攻撃で明石高専が徐々に点差を広げ、余裕をもっての5年連続の決勝進出。

もう一方の徳山高専と八代高専の準決勝は、八代が城音寺、小形の連取で先行。しかし、5分過ぎからは徳山が浴、河崎、田中、国弘の6連続得点で、一気に試合の主導権を握り、前半を12―6で折り返す。徳山GK森重の好守に苦しむ八代も、後半は地元の大声援を背に動きが良くなり、10分からは速攻を含む5連続得点で1点差まで猛追。コートサイド特設のラジオ実況もボルテージが上がる。八代に退場者が出る間に徳山の浴が確実に7mを決め、流れは再び徳山に。最後は追いすがる八代を3点差で退け、徳山高専が初の決勝進出。

決勝戦はやや緊張気味の徳山高専に対し、明石高専は永井、木内の連続速攻で口火を切る。その後も芝山、江草、田中らの速攻、カットイン、ミドルシュートが小気味よく決まり、17分で早くも6点差と明石ペース。しかし徳山も河崎、田中の連続速攻で反撃し、前半は4点差で終了。後半は互角の立ち上がり。徳山はGK森重の再三にわたる好守と、激しいメンバーチェンジでリズムをつかみ、徐々に点差を詰め、残り30秒、浴の速攻でついに同点。延長戦は、明石が芝山の左手（逆手）シュートで先行。徳山もすぐに河崎のロングで追いつく。それぞれの持ち味を生かした決勝戦にふさわしい好ゲームとなったが、前半のビハインドを跳ね返し、勢いに乗る徳山高専がついに接戦を制し、歓喜の

初優勝を飾った。
第23回大会の優秀選手は、GK・森重佳紀、CP・浴辰也、河崎真治（以上徳山高専）、江草尚之、永井正人（以上明石高専）、門永勇紀（米子高専）、城音寺誠（八代高専）の7名が選出され、閉会式で表彰された。

## 戦績

**■予選リーグ1組**

明　石24（15－6）11一　関
明　石40（23－9）17鈴　鹿
一　関20（10－10）18鈴　鹿

［順位］
①明石高専
②一関高専
③鈴鹿高専

**■予選リーグ2組**

米　子21（8－9）17豊　田
米　子25（14－6）18有　明
豊　田20（12－6）14有　明

［順位］
①米子高専
②豊田高専
③有明高専

**■予選リーグ3組**

徳　山26（10－5）12大阪府立
徳　山27（17－9）22富　山
大阪府立24（9－7）12富　山

［順位］
①徳山高専
②大阪府立高専
③富山高専

閉会式、優勝校徳山高専の表彰

**■予選リーグ4組**

八　代24（10－6）15長　岡
八　代28（9－10）21仙台電波
仙台電波21（10－12）21長　岡

［順位］
①八代高専
②仙台電波高専
③長岡高専

**■決勝トーナメント準決勝**

明石高専31（13－8）14米子高専
徳山高専20（12－6）17八代高専

**■決勝**

徳山高専31（9－13、15－11、4－3、3－2）29明石高専

# 日韓中ジュニア交流競技会

日・韓・中ジュニア交流競技会のハンドボール競技は、8月26日〜28日の3日間、長崎県で開催された。以下にその戦いの模様と結果をご紹介する。

## 第1日

■女子　（　）内は前半得点

長　崎18（9—11）18中　国

立ち上がり中国は3連取で3—0としたが、長崎も6分川端の7mスローをきっかけに4連取をして10分30秒には4—3と逆転に成功。その後一進一退がしばらく続いたが、19分過ぎから中国がスパートし、5連取で中国の11—7となった。その後すぐ長崎は中国の退場のスキに2連取をして9—11で前半を終えた。

後半は、長崎が立ち上がりから一挙にスパートし、15分には17—12と5点差を開いた。しかし中国も踏ん張り、ここからの4連取をきっかけに、長崎が退場者を出したスキに18—18と追いつかれた。ここで残り1分30秒。長崎は十分勝機があったかに思えたが、イージーにシュートを放ってしまったことが悔やまれる一戦であった。

**四天王寺高11（2—13）31韓　国**

立ち上がり両チームとも硬さが見られ、スムーズな展開ができなかった。7分に四天王寺がやっと2点目を入れ、3—2で韓国のリード。ここから韓国は次第に硬さがとれ、フローターもポストもよく動きパスも廻った。これに対し、四天王寺はサイドでチャンスはつくるものの、ラインクロス、シュートミスでチャンスをつぶしていった。その後、韓国はディフェンスの動きも良くなり、四天王寺は攻め切れなくなった。結果、13—2と思わぬ大差で前半を終了した。

後半も韓国の勢いは止まらず、15分には26—5と開いた。結局、四天王寺の奮戦もむなしく、31—11で終了となった。11得点をあげた韓国のヤン選手の活躍が光った。

■男子

長　崎36（20—9）16中　国

中国は体は大きいが、まだ荒削りなチームであった。イージーミスが多く、このミスに乗じて長崎は着々と速攻で加点。前後半を通じて雑な展開で長崎が一方的に勝った。

韓　国29（14—9）19横浜商工

韓国は立ち上がりから慎重なゲーム運びの展開であった。一方、横浜商工はのびのびと商工らしい攻撃を見せ、12分には7—5とリードの展開であった。しかしここから韓国のロング陣が爆発。4番パク、14番キム、15番リーで8連取して試合の大勢を決めた。

後半に入っても韓国は順調に得点を重ねた。横浜商工は執拗にポストを狙って攻撃するが、外からの攻撃にいま一歩迫力を欠き、ディフェンスを崩せなかった。結局29—19の10点差で韓国の勝利となった。

### 日本体育協会・安西孝之会長がハンドボールを視察

左から2人目が日本体育協会・安西会長、その右が加藤部長、左端が日本ハンドボール協会・江成理事

第4回日・韓・中ジュニア交流競技会会長でもある、日本体育協会安西孝之会長が、日本体育協会スポーツ振興部長の加藤勤氏とともに競技会初日である8月26日にハンドボール競技の観戦に足を運ばれた。若い選手たちの溌剌としたプレーに熱心に見入られていた。

## 第2日

■女子

韓　国39（21—5）14長　崎

第2日目となり両チームとも硬さがとれ、のびのびとしたプレーで始まった。韓国は立ち上がり20秒に初得点をあげるや、3番パクのケガはあったものの7番ヤンを中心にロング、サイド、カットイン、速攻と次々に得点をあげた。一方長崎は韓国の厚い守りに攻め手がなく、前半5点にとどまった。

後半に入っても韓国の勢いは止まらず、着々と加点をした。長崎も奮戦したが、結局39—14で終了となった。

**四天王寺高25（10—5）9中　国**

四天王寺は前半5番黒木のポストプレーがよく決まり、順調に得点を重ねた。一方の中国はミスが多くなかなかシュートまで結びつ

韓国15番リー選手

けられなかった。

後半に入っても四天王寺は攻撃の手をゆるめず、中国のミスを拾ってよく走った。中国はロング以外攻め手がなく、9点にとどまった。

■男子

韓　国30（17—10）21長　崎

韓国は前日と同じく、4番パク、14番キム、15番リーのフローター・トリオがロング、カットインなどで24点をあげるという活躍で快勝した。

横浜商工31（11—9）14中　国

横浜商工は、前半8番林、10番神田の活躍で、20分には13—5とリードを奪った。ここから中国も踏ん張り3連取した。前半終了時には、長身を生かしたノータイムフリースローを3番ゴンが決めて14—9で終わった。

後半に入っても横浜商工の勢いは止まらず、速攻で着々と加点した。後半13分からは、23分まで、菅野、林、長村などで10連取をする快勝であった。中国はミスが多くボールが廻らなかった。

## 第3日

■女子

韓　国34（18—4）13中　国

韓国は立ち上がりから、7番ヤン、17番クワック、13番ソンで次々と得点した。ディフェンスも厚い守りでよく動き、中国の攻撃を10分30秒までシャットアウトした。中国も4番リューを中心に踏ん張るが、力の差は遺憾ともしがたく、韓国の快勝となった。大会を通じて韓国7番ヤンのミドルシュート、ランニングシュート、カットインなどのプレーが光った。

四天王寺22（12—5）8長　崎

四天王寺は6番斉藤のロングシュートを軸に、ポスト、サイドへとボールがよく廻り、着々と加点した。一方長崎は5番川端、9番水田で打って出るがシュートが決まらず四天王寺の速攻を許した。後半に入ると、四天王寺は完璧に長崎の攻撃を封じ込め快勝した。

長崎3番末吉くるみ選手

■男子

韓　国36（20—7）18中　国

韓国は14番キムが合計13得点をあげる大活躍で中国に快勝した。キムは前半終了時にはノータイムフリスローを直接決めるなど、豪打が目立った。また、チームとしてサイドにもボールを回していたことが目立った。

一方中国は韓国のディフェンスを攻め切れず、外からのシュートとパスミスで自滅した。

長　崎27（14—10）22横浜商工

試合は横浜商工の先行で始まった。しかし長崎は8番田口などのシュートで着々と得点し、10分30秒には田口の3得点目で5—4と逆転に成功した。横浜商工も神田らで踏ん張り前半を10—14で折り返した。

後半に入り、横浜商工は光武らで踏ん張り、1分30秒には12—14と2点差まで詰め寄る。しかし、退場者が出たのをきっかけに徐々に離され、12分には14—22と試合の大勢が決まった。

## 全体を通して

全体を通して韓国の強さ、特に女子のずば抜けた強さが目立った。男子では4番パクと14番キムの強打とカットイン、15番サウスポーのリーの強打が目立った。女子では7番ヤンのプレーが光った。ロング、ミドルシュートに加え、ランニングシュートも威力を発揮していた。この他にも、3番パク、17番クワックなどの好プレーが目立った。また、その他に男女ともにGKは好素材であり、今後の成長は恐ろしく思われる。

中国は男女とも荒削りなチームであった。パスミス等ミスが多く自滅をした感じであった。しかし身長はずば抜けており、基礎技術と体力が出来上がれば脅威となると思われる。

日本男子の横浜商工は、国体予選の都合で2年生主体のチームであったのが残念であった。今後の東アジアでの戦いを考えるならばぜひともベストメンバー送り込みたいものである。

# 山梨のインターハイを終えて

山梨県高等学校体育連盟
ハンドボール専門部委員長　市瀬公敬

平成４年度全国高体連理事会において、山梨県でのインターハイが決定された後、平成７年４月より塩山市実行委員会が設置され、大会開催の本格的準備作業が進められていった。

インターハイハンドボール競技は、山梨県では昭和38年に富士吉田市で、また、昭和50年にここ塩山市において開催されたが、長い年月がたち、大会の規模も変わり、全く新たなスタートと心を引き締め大会開催の準備にかかった。

思い起こせば、岡山県倉敷市への視察で素晴らしい大会運営を目の当たりにし、このような大会が開催できるものかと不安になりながら帰路についたこともありました。

開会式当日には心配されていた降雨もなく、塩山高校グランドにおいて日本ハンドボール協会副会長のご出席をいただくなか、堂々の選手入場を目の前にしたときには感涙がこみあげてくるのを覚えました。

女子決勝戦の四天寺と名短付の試合

競技は「かけぬけろ　夏　風をきれ山梨で」のスローガンのもと、初日より熱戦が繰り広げられ、男子は１回戦より昨年の決勝と同じカードが組まれるなど競り合った対戦が多く、ベスト４には関東３、九州１のチームが勝ち上がったなか、昨年に続き横浜商工（神奈川）が２年連続の優勝を飾った。とくに渡辺監督は、出身地で高校時代の恩師をはじめ多くの知人・友人たちに囲まれての日本一には、思い出の大会だったと心より祝福いたします。

女子は、東海、東北、北信越、近畿のベスト４のなか大阪府代表の四天王寺が１回戦より圧倒的な強さで頂点にのぼりつめ、その爽やかなしかもフェアな戦いぶりは余裕さえ感じられた。

今年度より、審判員は全国各ブロックより推薦された審判で構成され連日炎天下のなか的確な判定をされたことに敬意を表するとともに、この経験を各ブロックのために生かしていただきたい。

大会の運営には、日本ハンドボール協会、全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部をはじめ数多くの諸機関、諸団体にご指導を賜りながら、役員には地元塩山市民の方々はじめハンドボール関係者が昼夜を忘れて準備段階から大会期間中までの間、絶大なご協力をいただきました。補助員は、会場校の塩山高校の一般生徒４００余名の運営補助員と、県下各高校ハンドボール部員による競技補助員とが共に運営に一役かってくれました。

大会を回顧するなか、晴天時、雨天時両方の準備には２つの大会を開催すると同等の人的エネルギーや経済的負担がありました。競技の特性上、室内での開催を望みグランドでの競技は山梨大会を最後にしていただくことを切に希望いたします。

終わりに、本大会に参加され、健闘されました選手を称えるとともに、大会関係各位の絶大なるご尽力、ご協力に感謝申し上げ大会終了といたします。

名古屋・京都・大阪・神戸・横浜の市民が参加する「五大都市体育大会」が今年7月12日(金)～14日(日)の期間ハンドボールを始め20種目の競技が横浜市で開催されました。昨年は、「阪神・淡路大震災」で中止になり2年ぶりの大会となりました。

この大会の目的は、スポーツを通じて相互の友好を温め市民の体位向上と健康で明朗な文化生活の高揚に資することを目指しています。

この大会は、第1回大会が昭和25年神戸市で開催され競技種目は8種目で、もちろんハンドボールは種目には入っておりません。ハンドボールが競技種目に加入したのは、男子は昭和38年第14回大会、京都市で総当たりのリーグ戦方式で開催され、女子は昭和56年第32回から加入し、ゲーム数の関係でトーナメント方式に替わりました。

男子は以前、名古屋市・大同特殊鋼、大阪市・湧永製薬、神戸市・スワロー兵庫と強豪チームが出場し毎回決勝は、大同対湧永の対決が多かったようです。湧永製薬が大阪市から広島移転してから参加資格の中に、日本リーグ選手について男子は登録抹消後2年を経過したものは出場可。女子は、登録抹消後1年を経過したものは出場可という項目を追加したそうです。

他の出場資格は、当該市に在住するもので社会人とし、学生生徒の参加は認めないとなっております。

ハンドボールは、横浜市平沼記念体育館で開催され、男子は、名古屋・京都が他の市より一枚上と予想され、女子は、過去の優勝回数から見ても、男子同様、名古屋・京都が有力視していました。

# 五大都市体育大会ハンドボール
# 2年連続　名古屋市アベック優勝

名古屋市ハンドボール男子監督　名城大学　飼沼　敏雄

男子1回戦は予想どおり名古屋・京都が実力どおり勝ち上がって事実上の決勝が、準決勝であった。名古屋は、大同特殊鋼のOB・愛知教員・名城大学・中部大学の卒業生といったチーム編成で、どこからでも得点ができるチームであります。また京都は、大阪体育大学を卒業した京都教員が中心で速攻の早さ、セット時のボール回しは抜群で一対一のフェイントも強く好チームであります。

前半、試合開始、名古屋は向井・加藤のコンビ、名取のロング田中・海江田のサイドとたて続けに4ゴールを決め、予想外のスタートを切り名古屋は前半11－5と大きくリードして前半を終えた。後半、名古屋が7mスローを京都のキーパー山下に止められたころから京都のペースになり、得意の速攻が決まりだし、好ゲームになったが、残り5分、名古屋の疋田・二村がいいところでロングシュートを決めGK箕輪の好守でしのぎ、21対18で名古屋が逃げきった。2戦目の準決勝は大阪対横浜、24対24で同点になり延長戦になったが、横浜GKが好守を見せ7mスロー、速攻のノーマークシュートをことごとく止め29対20で横浜が勝った。

決勝は名古屋対横浜の対戦になったが前半18－10と名古屋が大きくリードし、後半メンバーを替え36－20で名古屋が2年連続優勝した。

女子は、名古屋、ブラザー工業のOG・愛知教員、中京女子大卒業生のチーム編成で練習量だけは他の市より一番多いチームであります。

準決勝、名古屋対大阪は前半大阪のペースで始まり市来・白鳥のコンビに加え左45度のロングシュートが決まり10対8で大阪がリードして前半が終わった。後半、大阪のシュートミスをついて、名古屋の矢野・野田の速攻、荒木のロング、飯田のミドルとたて続けにシュートが決まり17対14と名古屋が逆転し逃げ切った。2戦目の準決勝は、横浜対神戸の戦いになったが14－9で神戸が決勝に進んだ。神戸は1回戦で大阪に負けたが、敗者復活戦で京都に勝ち準決勝で横浜にも勝ち決勝に進んだチームです。

決勝は、名古屋対神戸になったが前半10－8競った試合になったが後半実力・練習量に勝る名古屋が25－18とし、名古屋が3年連続優勝を決めた。

《男子》

■1回戦
京都　26－17　神戸
名古屋　27－16　大阪
大阪　25－16　神戸

■準決勝
横浜　29－27　大阪
名古屋　21－18　京都

■決勝
名古屋　31－20　横浜

《女子》

■1回戦
大阪　21－15　神戸
名古屋　26－13　京都
神戸　23－21　京都

■準決勝
名古屋　17－14　大阪
神戸　14－9　横浜

■決勝
名古屋　25－18　神戸

列島縦断

## 山口県ハンドボール協会だより

# 「ハンドボール山口」の維持向上をめざして

山口県ハンドボール協会理事長　増田雅夫

昭和14年に日体送球部が巡回講習を山口市で開催したのが山口県におけるハンドボール歴史の第一歩であり、その後、藤田信義氏（元山口大学教授）が山口中学に奉職し、昭和22年県下で初めて同好会が誕生した。昭和23年、星井直、柳井文治両先生がそれぞれ徳山中学、下松工業高校に新任され部が結成され、5月にその3氏を中心に山口県ハンドボール協会が設立された。発足後49年が経過し、会長7代目、理事長8代目と引き続いてきました。その間、第18回地元国体での徳山高校の男女アベック優勝、下関中央工業高校、下松工業高校、岩国工業高校、山口県少年選抜チーム、また中学校では下松中学、JOCジュニアオリンピックカップでの県中学女子選抜と多くの全国制覇を獲得し、数多くの好成績を挙げています。

またイベントとして昭和38年国民体育大会の開催地をはじめ全国中学校選手権大会2回、高校総体1回、高校選抜2回、全日本総合2回、全日本学生1回、その他国際試合、日本リーグ等数多くの大会をこなすことができました。

現在山口県協会には、一般L1、一般A男10、女3、大学・高専男4、高校男23、女16、中学男23、女11のチーム登録がされており、一般（クラブ、実業団）、高体連、中体連、学連、さらに各市協会の大会が数多く開催されております。

過去、山口県ハンドボールの競技力はすばらしく、数多くの好成績を挙げてきましたが、近年の全国のレベルの向上に対し、過去の成績を維持向上していくのは並大抵なものではありません。特に地方にあっては刺激がないため、マンネリ化しやすい傾向となり競技力も低下してきます。それを打破するには、レベルの高いハンドボールをいつも目にし、対戦するしかありません。そこで、そのような環境をと、ハンドボール先輩等のご尽力により我々の長年の夢であったハンドボールのための体育館、徳山市総合スポーツセンター（ハンドボールコート3面）が平成4年に設立されました。その後、数多くのイベントを運営し、レベルの高い選手、チームを見ることにより県内の競技レベル、審判技術向上のエネルギーとなり、また中・高校生の大会も外から中へと定着することができ、ハンドボール関係者のみならず一般の皆様にもハンドボールをアピールすることができるようになりました。中でも、国際的な競技場として誇れる会場、十分な広さのコートの中で全国的な大会をと、第18回全国高校選抜大会を史上最多の64チームを開催することができたことは、意義あるものでした。

本年も4月7日ドイツ「フェルデン」と日本リーグ2部トクヤマとの国際親善試合を開催し、本場ドイツのパワフルなハンドボールを観戦することができました。

また、7月26〜28日、第16回全国クラブハンドボール選手権西日本大会を開催しました。日頃練習もままならず、ハンドボール環境にも恵まれず、わずかな時間を割いて、多くの経費を負担しながらも、誰よりもハンドボールを愛している選手の集まりの大会でもありましたが、チャンピオンスポーツとは少し違ったさわやかさを残した気持ちの良い大会でした。今後も数多くのイベントが開催されるものと思いますが、関係者一同、皆様に喜ばれるより良い大会運営をしていくよう努力していくつもりです。県協会のOBの力により「ハンドボール山口」「山口スポーツの県技」と言われるようになり、それを維持向上すべく、現役指導者はより一層の努力をし、協会としては、指導者の組織の確立と研修の場を設け好成績をあげています。強くなることは、ハンドボールの繁栄、メジャー化への最短の道であり、県下においても他競技に負けないメジャー競技として実績をあげてきています。その結果、県より国体強化重点種目として指定され、国体の得点源として期待されています。8月末に実施された国体の中国地区ブロック予選では全種別で1位を獲得し、本国体への出場を決めました。さらに強化し、国体での上位入賞をめざしております。

過去の実績に甘んじることなく、新しいアイデアと実行力により競技力の強化、イベントの運営、審判員、指導者の研修は必須です。しかし、県協会が抱える問題はたくさんあり、一朝一夕に解決できるものではありません。資金がないから何もしないという訳にはいきません。どのように財源を確保していくか、中・高校生の生徒数の減によるチーム数・競技人口の減少、能力ある選手を確保育成するために早急にスポーツ少年団の設立を、など多くの課題に対し、一つ一つ真剣に、組織的、計画的に取り組み解決していかなければなりません。県ハンドボール協会の活性化のため、日々努力を惜しまず頑張っております。皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

私のチームづくり

# 諸先輩からの教えをもとに

伊奈高校監督
滝川一徳

高校時代からの夢であったハンドボールの指導者になってはや5年目になりました。指導者として駆け出しの私ですが、今までお世話になった諸先輩先生方から教えていただいた経験を基にいくつかの観点から自分なりの持論を述べてみたいと思います。

## 「常に謙虚であれ」

私の学生時代の恩師である松井幸嗣先生から教わった言葉です。ついつい生徒は試合等で良い成績を出すといろいろな面でルーズになりがちですが、それらを厳しく指導しています。一人の選手である前に一人の生徒であるわけですから、学校の生活全般において当たり前のことを当たり前にできるよう、お世話になった方々には「おかげさまで」の気持ちを忘れないことなど…、それらを続けることで学校や地域での理解を得て、長く愛される部活動でありたいと思います。

## 「基礎体力と自己管理」

大学を出たばかりの頃の私はとにかく技術を教えれば良い選手、強いチームが作れると考え、自分の経験だけを教えこもうとしました。はじめ1年間は中学校の男子を指導したのですが、水海道二高の女子選手とゲームをすると、中学生がバタバタと転んだり倒されたりするのです。はじめはDFに近いからだと思っていたのですが、ある時、当時監督でいらした大村先生から基礎体力の大切さを指摘され、良いシュート、力強いDF、スピードあふれる攻撃、そして何よりミスの少ないチームを作る第一歩は基礎体力であるといった信念を持てるようになりました。

伊奈高校に赴任してからもそれを貫き、砂浜での走り込み合宿、学校近くの土手を使ったトレーニングなど器具の少ない本校では自然の負荷を与える練習をある時期に集中して行い、また毎日30分程度は基礎体力練習を欠かさないようにしています。そして、それらを無駄にしないよう、選手には栄養摂取や休養についての知識を得させて、「人の見ていないところでの努力」つまり家庭での食事や、普段の生活の中での自己管理能力を徹底して指導します。

本校にも入学時から1年間で10kg体重が増加した選手もいますが、やはりプレーも体重増加に比例して上達したように思います。最近ではオルソン全日本の話を聞いて中間食も取らせる工夫もしています。

## 選手を大切に

指導者としての資格といったようなものを本校前監督である鈴木孝八郎先生から学びました。特に「監督」として選手に接する時には迷いを捨てて、自分の信念を貫き、勝った時は選手の頑張りを誉め、負けた時は自らが責任を持ち、そして反省を繰り返しながら成長していくものだと。また「先生」として選手から信頼されることがチームをまとめ上げ強くしていく最低限の条件だとも教わりました。どのような時でも選手に愛情を持って接し、誉める時も叱る時も常に選手を伸ばす、大切にするということを念頭に置く指導を心掛けています。

## 研究心を旺盛に

おかげさまでここ数年全国大会に出場させていただいているので全国のトップチームを目の当たりにすることができますが、常に良いものを多く吸収し、その中で本校のハンドボールといったものを確立していかなければなりません。迷ったら自分を信じて指導に当たるしかないので、そういった意味では常に指導者は研究心旺盛に常に勉強していなければいけないように思います。ですから本校も参加させていただいている冬の富岡、春の学法石川合宿などで得るものは大きいと考えます。あれもこれも取り入れると自分もそしてチームにも迷いが生じるので、信念を持ちつつ、研究することを忘れないのが私のチームづくりのモットーであります。

最後になりましたが、今後も一生懸命努力する所存でございますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

[戦績]
インターハイ出場3回　3位1回
全国選抜大会出場3回　優勝1回
ふくしま国体準優勝

## 指導者の条件

# 私の指導体験から

関西外国語大学　中出　盛雄

日本の近代スポーツは、学校を拠点として発達してきたが、とりわけハンドボール競技は、その指導者の大半が体育教師であったと思われる。したがって、教師兼スポーツコーチ（習慣によれば）と言われ、学校業務に追われつつ、選手の生活並びに技術指導までの役割を課せられることになる。筆者もその一人として、昭和23年より高校19年、大学28年間を課外活動のハンドボール部の指導に携わり、主として高校女子チームを対象に、「試合に勝つこと」を目的とした競技スポーツの指導体験の一端を記して、筆者にとって荷の重い題目の文責を果たしたいと思う。

1、いいチームの条件は、いい選手、いいコーチ、いい設備がいる。

2、いい選手の育成には、1年生はハンドボールのプレーに関しては素人なので、「一生懸命練習すれば勝てる」と、選手の目的意識を頑張りが勝利に結び付くよう方向づけることである。

3、試合に勝つためには、競技力の基礎を育成するトレーニングを積むことが大切である。素人にとって体力の向上は短期間で効果がみられるし、試合しても技術を除けばさほど落胆しなくてもよい。その結果、選手の練習意欲（ヤル気）は、自然に出てくる。

4、試合に臨む時には、「基本に忠実、集中力の継続」をモットーに、最後までやり抜く信念（自信）を持つように教える。

5、ハンドボールの技術は、勝つための手段にすぎないと思う。ハンドボールの勝負は戦術が一番重要と考えられる。

6、いいコーチは、率先垂範と理解力がいる。トレーニングに関しては勿論だが、グランド整備その他の雑用でも上級生がモデルになるよう指導し、クラブの運営を決して独断専行しない。

絶えず未知に対して素早い決断をくだし続けなければならないコーチは、仏典や古典を参考にして、宗教的な次元の修養が必要だと感じられる。

「戦術」とともに「心術」をも練って、指導者としての人間的器その物を大きくしなければならない。

7、ハンドボール以外の種目（筆者の場合は、バスケットボール、サッカー、バレーボール、跳び箱・マット運動など）のゲームやトレーニング方法から、自分のトレーニング法を新しいものに改良し、常に探求心を失わず、「這えば立て、立てば歩め」と願う親心の性急さを避け、筆者は『今日よりは、明日あるつとめ』と、選手たちには達成可能な目標を与え、要求水準を高すぎないようにした。

【戦績】

寝屋川高校

インターハイ優勝
　第3、5、7、9回大会

国体優勝
　第9回大会

東西対抗優勝
　第3、4回大会

インターハイ2位1回、3位2回

国体2位1回、3位5回

指導者の像

# 一人一人を大切に

火の国（熊本）スポーツ活動支援隊　北川　浩

この題名は本にする題名である。本にするのならいくらでも書けるが、400字×3枚ではむつかしい。恐竜を書くのに爪を書いて恐竜の全体を知らせるようなもので、わかってくれるかは読者次第である。

米倉会長の新年のごあいさつを読んだ。5千チームか6千チームくらいの少ないチームの協会長としてのご苦労を察します。強力チームをつくり、ハンドボールを熱愛するファンをつくるのは監督です。指導者です。

まず、強力チームのつくり方とか、勝つコツを書くなら本になるので止めて、新入部員を前に並べてあいさつをする監督の前にいた部員が、1年たって納会の時にそのままの人員が居るかを考えてみよう。

1人退部していたら、5千チームに同じことが起きていたら、愛好者5千名の損失だ。

今、熊本は世界大会に向かって1万人収容のドームを作っているのに、大変な損失だ。

誰にも負けぬ世界一のチームをつくるのは指導者の大使命で、みんなが思っている野望であるが、あい鴨の先頭を子鴨を連れていく親鴨の姿を思ってほしい。あの親鴨の子育てが監督の姿であってほしいと思う。全員を守って先頭を行く姿を…、あのほほえましい行列を…。

・ハンドボールの愛好者を抹殺しているのは、監督ではないかとは思いたくない。指導者の根性論、選手に合わない練習、いじめ、暴力等で…。神戸グリーンアリーナで行われた大会の入場者数は発表されないが、熊本は3日間で6千名だった。3千名収容の体育館で、まあ7～8分の入りで日本チームの時は満員でしたが、良い成績でなかったから、後引かねば良いがと思っている。

神戸も調べればわかること。発表なさい。反省になる。お互いに集客方法等の研究になりますよ。要は模範となるべきスターを育て、味のあるチームをつくることである。

皆様がハンドボール協会を背負っているのです。協会は協の字がついているのだから選手に協力して下さい。

監督は1人の脱落者も出さずに熊本のドームを一杯にするようご協力下さい。

【戦績】

熊本市立高校監督時代

全日本高校大会3年連続優勝

国体、全日本大会4回優勝

世界選手権出場全日本チームヘッドコーチ

ドイツ研修報告

# ドイツと日本との相違点について

最終回

## ～報告の最後に～

順天堂大学ハンドボール部監督　東根明人

一年間の研修もいよいよ終わろうとしています。この報告が最後となりますが、お陰様で充実した日々を過ごすことが出来ました。今回の研修における目的は、ハンドボールの本場ドイツにおけるトレーニングやコーチングシステム等を学ぶことにありました。幸いにして、多くの専門家やプレーヤー、そして友人を通じて数多くの情報を入手することが出来ました。一方で、どの程度日本のハンドボール関係者の方々に、本場ドイツのハンドボール事情を提供できたかということについては、甚だ疑問が残りますが、最終回となるこの報告では、研修全般を通して私なりに感じた日本との相違点について、述べてみたいと思います。

日本の現状を批判するのではなく、日本とドイツの現状を把握すると同時に比較しつつ、ではいったいそれらをどうしたら良いのかということを考えるための、問題提起とでもご理解いただければ幸いです。

**○組織について**

既に知られているように、日本は学校あるいは企業を一つの単位としているのに対し、ヨーロッパはクラブ単位でチームや連盟が組織されています。クラブは、自治体やスポンサーそしてクラブ側がその運営にあたり、チーム名には必ず自治体名を入れることになっています(日本における、サッカーのＪリーグのように)。従って、運営資金といったものは、ほぼ1/3ずつの分担となっています。そしてクラブには、Bundesligaを筆頭とする、男女、年齢、レベルに応じたチームが所属しています。

また、統括する組織がレベルによって異なることも、特徴的といえるでしょう。例えばBundesliga１部、２部はDHB(ドイツハンドボール連盟)ですが、次のクラスにあたるRegionalligaは地域連盟が、更にその下にくるOberliga以下は地方連盟がそれにあたるようになっています。ここで注目すべきことは、形式上の分割管理というのではなく、そこにはそれ相当の権限や、独自性といったことが認められているということです。勿論、それぞれの連盟が関連しあって運営されているので、上から下までの所謂理念といったものは、統一されていることは言うまでもありません。

**○理念について**

ではいったい統一されている理念とはどのようなことなのでしょうか。

一つには、インターナショナルで通用する、或いは認められるナショナルチームを作ることであり、一つには、地域住民に愛され、密着したチームを育てるといったことにつきるのではないでしょうか。強化と普及という相反するテーマの追求という点に関しては、各国共通していることですが、その理念そして目的・手段ということになると違いが出てくるように思われます。そして、この理念こそがその国のハンドボールが発展するか否かのキーポイントになってくるのでは。ハード面と違いコストの心配はなく、関係者の知恵と判断力が必要なだけです。そして、日本と世界の現状を常に把握しながら、その時に必要な手段を適宜施していくことが重要ではないでしょうか。

**○方法について**

方法或いは手段というべき、具体的方策に関する違いはどこにあるのでしょうか。これは、既述した組織そして理念とも関連してくるのですが、ドイツではあらゆることが体系化されている、という一言に尽きるのではないでしょうか。体系化されているということは、目標達成に向けて何が必要で、それをどのように獲得していくかという点について、文章化されているということでしょう。クラスごとに技術・戦術に関する到達目標が明示され、指導者はそのプランに基づいたコーチングをします。なかには、自チームが勝ちたいためにそれらとは異なる方法を取るチームもいますが、それはほんのごく少数であり、殆どのチームはDHBより提示されたプランを厳守しています。この背景には、優秀な人材を発掘し、育成するためには一貫したコーチングプログラムが重要であるという共通理解がなされているという事実があります。

以上大まかに感じたことを述べてみましたが、最初にも書きましたように日本を批判するのではなく、日本ハンドボール界が発展するために必要な現状を知る一つの指標になってもらいたいがために、書いたつもりです。

全てを変えることは不可能なことで、またその必要もありません。しかし、変えられることは変えていかなければ進歩・発展は望めません。日本の国民性や伝統、といったことも無視して物事を考えることも非常に危険です。そして１～２年で解決出来るほど容易なテーマでもありません。長期的展望と確固たる指導体系のもとで、優秀な人材を育てる組織・体制作りを望みます。

日本に帰り、何をどのように出来るか極めてむずかしいテーマであり、決してひとりで出来ることではありません。皆様と協力しながら、私なりに出来ることを精一杯やらせていただけたなら、と思っています。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えていただいたことに対しまして、日本ハンドボール協会をはじめとする関係者各位に誌上をお借りし、御礼申し上げます。

# 賛助会とはいったい何？

企画・広報委員　**早川　文司**

機関誌８月号「賛助会員だより」(27ページ)に後藤恵理子さんが日本協会にとっては耳が痛かろうが、とっても建設的な指摘をされている。「賛助会とはなんぞや」という問い掛けである。会の趣旨、存在目的がはっきりしない。「情報を手に入れたいあなたに」の誘い文句に惹かれて入会したものの、情報は流れてこない。特典といえば、日本協会主催試合の無料サービスだけ（これも魅力ではあるが）というわけだ。

賛助会がスタートしたのは83年８月だからすでに10年を超える。愛好者の関心を呼んだし評価もされた。ところが、会員の増える気配はない。一時は２ケタにまで落ち込んだことさえあったようで、96年度（４月現在）の会員数はわずか207人。都道府県別を見ても広島57人、東京27人、大阪10人以外はすべて１ケタ。１人というのが実に17県もある。

これでは後藤さんではないが、何のための賛助会かわからない。機関誌代で半分以上が消えるから、残りは50～60万円。協会の財政にどれだけプラスになるだろうか。会の活動費にもならない。このままでは失礼ながら〝死に体〟といってもいいだろう。

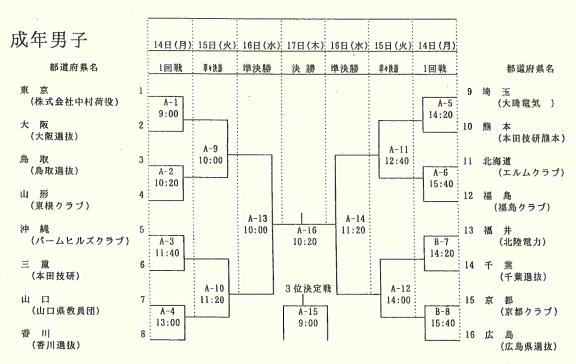
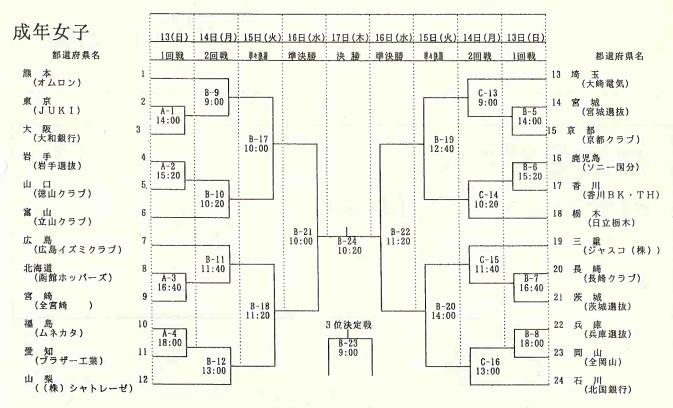
一言で言えばＰＲ不足、協会の怠慢と言わざるを得ない。はっきりした目的意識を持って広く趣旨を徹底させ、会員の拡大を図ることが先決である。

アトランタ五輪で日本中を沸かせたサッカーだが、代表チーム支援を主目的にした後援会がある。ここでは「あり方」をめぐって全会員を対象にフリートーク形式のアンケート調査をした。

それによると、真のファンをもっともっと結集して普及・振興に力を合わせるとの声が多かったが、会員同士の意見交換、提言の場、交歓の場を設けてはとの意見もかなり多かったようだ。

メジャーのサッカーにしても会員増をうたっているのだから、ハンドボールにしてはなおさらだ。早急にビジョンを描き、埋もれたファンを掘り起こしてメンバーを増やし、会の発展対策に取り組むべきである。宙ぶらりんでは存在の価値はまったくないのだから…。

フリースロー
Free Throw

# ハンドボール競技組合せ決まる

A　佐伯区スポーツセンター大体育室　　B　広島工業大学鶴記念体育館
C　広島市立美鈴が丘高等学校体育館

A　佐伯区スポーツセンター大体育室　　B　広島工業大学鶴記念体育館
C　広島市立美鈴が丘高等学校体育館

**テレビ放映　10月17日　成年男子決勝戦　NHK教育テレビ　14:00～**

# 第51回国民体育大会(広島)

## 少年男子

| 13(日) | 14日(月) | 15日(火) | 16日(水) | 17日(木) | 16日(水) | 15日(火) | 14日(月) | 13日(日) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1回戦 | 2回戦 | 準々決勝 | 準決勝 | 決 勝 | 準決勝 | 準々決勝 | 2回戦 | 1回戦 |

都道府県名

1 神奈川（全神奈川）
2 富 山（全富山）
3 三 重（三重選抜）
4 栃 木（国學院大學栃木高等学校）
5 山 口（山口選抜）
6 福 岡（福岡選抜）
7 広 島（広島県選抜）
8 岐 阜（岐阜選抜）
9 愛 媛（愛媛選抜）
10 宮 城（宮城選抜）
11 東 京（明星高等学校）
12 兵 庫（兵庫選抜）

都道府県名

13 大 阪（大阪高校選抜）
14 北海道（函館選抜）
15 沖 縄（沖縄選抜）
16 千 葉（千葉選抜）
17 石 川（石川選抜）
18 鳥 取（鳥取選抜）
19 香 川（香川選抜）
20 京 都（京都選抜）
21 岩 手（岩手選抜）
22 愛 知（愛知選抜）
23 長 崎（長崎県選抜）
24 埼 玉（埼玉県選抜）

E-1 11:00　E-2 12:10　E-3 13:20　E-4 14:30
E-9 10:00　E-10 11:10　E-11 12:20　E-13 13:30
D-17 10:00　D-18 11:10
D-21 10:00
D-24 10:10
D-22 11:10
D-19 12:20　D-20 13:30
F-13 10:00　F-14 11:10　F-15 12:20　F-16 13:30
F-5 11:00　F-6 12:10　F-7 13:20　F-8 14:30

3位決定戦
D-23 9:00

D 湧永満之記念体育館　　E 甲立多目的広場
F 甲立多目的広場

## 少年女子

D 湧永満之記念体育館　　E 甲立多目的広場
F 甲立多目的広場

# 東日本学生選手権

8月19〜23日　金沢市総合体育館

**優勝**　男子／早稲田大　女子／東女体大

《男子》

■予選リーグA組
小樽商大 26－25 新潟大
中央大 40－12 武蔵工大
新潟大 27－16 武蔵工大
中央大 39－22 小樽商大
武蔵工大 35－26 小樽商大
中央大 38－14 新潟大
〔順位〕
①中央大
②新潟大
③小樽商科大
④武蔵工大

■予選リーグB組
筑波大 38－13 秋田大
日大 29－17 金沢大
筑波大 32－8 金沢大
日大 31－13 秋田大
筑波大 16－13 日大
金沢大 29－20 秋田大
〔順位〕
①筑波大
②日大
③金沢大
④秋田大

■予選リーグC組
国士舘大 33－8 北教函館
慶應大 15－13 東北学院
国士舘大 22－12 慶應大
東北学院 33－13 北教函館
国士舘大 26－12 東北学院
慶應大 39－18 北教函館
〔順位〕
①国士舘大
②慶應大
③東北学院大
④北海道教育大函館

■予選リーグD組
法政大 34－17 大東文化大
道都大 26－9 福島大
法政大 30－11 福島大
道都大 36－17 大東文化大
法政大 22－18 道都大
福島大 30－23 大東文化大
〔順位〕
①法政大
②道都大
③福島大
④大東文化大

■予選リーグE組
東海大 24－15 東北福祉大
早稲田大 26－9 長野大
東海大 35－8 長野大
早稲田大 30－8 東北福祉大
東北福祉大 30－15 長野大
早稲田大 29－16 東海大
〔順位〕
①早稲田大
②東海大
③東北福祉大
④長野大

■予選リーグF組
日体大 44－9 信州大
函館大 36－11 東京経大
日体大 35－11 東京経大
函館大 34－13 信州大
日体大 31－15 函館大
信州大 22－21 東京経大
〔順位〕
①日本体育大
②函館大
③信州大
④東京経済大

■予選リーグG組
順天堂大 48－22 明治大
仙台大 34－14 札幌大
順天堂大 30－13 札幌大
仙台大 29－20 明治大
順天堂大 24－21 仙台大
明治大 28－20 札幌大
〔順位〕
①順天堂大
②仙台大
③明治大
④札幌大

■予選リーグH組
国際武道大 41－15 北海道大
金沢工大 25－18 岩手大
国際武道大 30－16 岩手大
金沢工大 22－14 北海道大
国際武道大 27－20 金沢工大
岩手大 38－17 北海道大
〔順位〕
①国際武道大
②金沢工大
③岩手大
④北海道大

■準々決勝
中央大 32－29 順天堂大
法政大 31－20 国際武道大
早稲田大 23－22 国士舘大
筑波大 28－25 日体大

■準決勝
法政大 24－23 中央大
早稲田大 26－22 筑波大

■3位決定戦
中央大 26－24 筑波大

■決勝
早稲田大 23－16 法政大

《女子》

■予選リーグa組
茨城大 26－8 仁愛女短大
東女体大 49－6 東京学芸大
茨城大 21－12 東京学芸大
東女体大 40－2 仁愛女短大
東女体大 30－12 茨城大
東京学芸大 20－16 仁愛女短大
〔順位〕
①東京女子体育大
②茨城大
③東京学芸大
④仁愛女短大

■予選リーグb組
国士舘大 23－20 東北福祉大
筑波大 40－6 信州大
国士舘大 28－1 信州大
筑波大 30－15 東北福祉大
東北福祉大 33－9 信州大
筑波大 31－13 国士舘大
〔順位〕
①筑波大
②国士舘大
③東北福祉大
④信州大

■予選リーグc組
東海大 24－17 金沢大
日女体大 37－7 玉川大
東海大 32－4 玉川大
日女体大 32－10 金沢大
金沢大 20－11 玉川大
日女体大 30－18 東海大
〔順位〕
①日本女子体育大
②東海大
③金沢大
④玉川大

■予選リーグd組
北海女短大 17－16 聖徳大
日体大 31－1 秋田大
聖徳大 21－17 秋田大
日体大 39－7 北海女短大
日体大 35－18 聖徳大
秋田大 19－16 北海女短大
〔順位〕
①日本体育大
②聖徳大
③秋田大
④北海女短大

■準決勝
筑波大 28－25 日女体大
東女体大 40－22 日体大

■3位決定戦
日体大 22－18 日女体大

■決勝
東女体大 29－23 筑波大

# 西日本学生選手権大会

（8月14〜18日　グリーンアリーナ神戸・神戸市立中央体育館）

**優勝**　男女／大体大

《男子》

■予選リーグA組
大体大 27－10 南山大
東和大 32－10 広経大
大体大 17－14 東和大
広経大 30－14 南山大
大体大 30－12 広経大
東和大 21－12 南山大
〔順位〕
①大阪体育大
②東和大
③広島経済大
④南山大

■予選リーグB組
関外大 26－19 九産大
中部大 29－14 愛媛大
中部大 24－22 関外大
九産大 21－17 愛媛大
中部大 34－12 九産大
関外大 20－17 愛媛大
〔順位〕
①中部大
②関西外語大
③九州産業大
④愛媛大

■予選リーグC組
福教大 34－19 大阪大
桃山大 27－20 関学大
福教大 27－20 関学大
桃山大 26－25 大阪大
桃山大 20－17 福教大
関学大 30－23 大阪大
〔順位〕

①桃山学院大
②福岡教育大
③関西学院大
④大阪大

■予選リーグD組
大経大 39－12 仏教大
愛学大 30－20 岡山大
大経大 30－17 愛学大
岡山大 27－16 仏教大
大経大 37－9 岡山大
愛学大 33－22 仏教大

〔順位〕
①大阪経済大
②愛知学院大
③岡山大
④仏教大

■予選リーグE組
広島大 21－16 西南大
中京大 28－8 天理大
中京大 34－14 西南大
天理大 18－15 広島大
中京大 27－13 広島大
西南大 18－16 天理大

〔順位〕
①中京大
②広島大
③天理大
④西南学院大

■予選リーグF組
名城大 34－14 龍谷大
立命館 25－15 松山大
名城大 34－8 松山大
龍谷大 24－23 立命館
龍谷大 23－19 松山大
名城大 28－12 立命館

〔順位〕
①名城大
②龍谷大
③立命館大
④松山大

■予選リーグG組
京産大 25－18 関西大
沖国大 29－21 愛知大
京産大 24－19 沖国大
愛知大 33－22 関西大
京産大 21－20 愛知大
関西大 25－18 沖国大

〔順位〕
①京都産業大
②愛知大
③沖縄国際大
④関西大

■予選リーグH組
愛教大 22－19 近畿大
福岡大 32－11 同志社
福岡大 28－18 愛教大
近畿大 27－19 同志社
愛教大 27－19 同志社
福岡大 30－12 近畿大

〔順位〕
①福岡大
②愛知教育大
③近畿大
④同志社大

■準々決勝
大体大 32－19 中部大
大経大 29－23 桃山大
名城大 26－20 中京大
福岡大 35－13 京産大

■準決勝
大体大 30－16 大経大
福岡大 24－16 名城大

■3位決定戦
名城大 28－23 大経大

■決勝
大体大 20－19 福岡大

**《女子》**

■予選リーグa組
岡県大 21－14 立命館
大体大 34－10 龍谷大
大体大 23－12 立命館
岡県大 19－17 龍谷大
龍谷大 25－18 立命館
大体大 40－11 岡県大

〔順位〕
①大阪体育大
②岡山県立大
③龍谷大
④立命館大

■予選リーグb組
中女大 24－14 大教大
広島大 25－12 九女大
大教大 29－16 広島大
中女大 33－10 九女大
大教大 32－14 九女大
中女大 36－11 広島大

〔順位〕
①中京女子大
②大阪教育大
③広島大
④九州女子大

■予選リーグc組
福岡大 19－12 関女短
天理大 24－14 名文短
福岡大 20－12 天理大
名文短 16－15 関女短
福岡大 30－14 名文短
天理大 30－10 関女短

〔順位〕
①福岡大
②天理大
③名古屋文理短大
④関西女子短大

■予選リーグd組
武庫川 18－13 中京大
福教大 31－10 関外大
福教大 21－10 中京大
武庫川 26－7 関外大
中京大 24－11 関外大
武庫川 27－21 福教大

〔順位〕
①武庫川女子大
②福岡教育大
③中京大
④関西外語大

■準決勝
大体大 36－32 中女大
武庫川 32－17 福岡大

■3位決定戦
中女大 30－18 福岡大

■決勝
大体大 17－15 武庫川

# 審判委員会インフォメーション

## ●平成8年度 A・B級審判員合格者

### [A級合格者（受験者21名　合格者16名）]

| | | |
|---|---|---|
| 渡辺　邦夫（北海道） | 柏館　秀一（岩　手） | 西郷　　晃（岩　手） |
| 小西　正寿（栃　木） | 菅田　信也（東　京） | 山本　興道（東　京） |
| 小口　正則（長　野） | 竹内　佳明（長　野） | 小山　英人（長　野） |
| 内藤　　岳（静　岡） | 片山　　聡（静　岡） | 寺内　啓之（大　阪） |
| 平原　慶二（長　野） | 金子　弘明（長　野） | 浦川　寿生（長　崎） |
| 石崎　章弘（長　崎） | | |

### [B級合格者（受験者39名　合格者28名）]

| | | |
|---|---|---|
| 高井　　洋（青　森） | 高橋　俊英（秋　田） | 鈴木　雅史（岩　手） |
| 佐藤　嘉宏（岩　手） | 菊田　克紀（福　島） | 岩井　潤一（群　馬） |
| 新井　喜人（群　馬） | 岡田　　茂（群　馬） | 戸塚　幸広（群　馬） |
| 平松　裕明（千　葉） | 山上修二郎（千　葉） | 江原　秀一（東　京） |
| 田代　和正（東　京） | 桂　　伸也（神奈川） | 行田　　潤（長　野） |
| 屯所　　勉（新　潟） | 田中　宏育（富　山） | 石川　直樹（静　岡） |
| 三浦　　渉（愛　知） | 伊藤　公英（滋　賀） | 高野　　修（広　島） |
| 松本　知巳（愛　知） | 川西　章生（福　岡） | 遠藤　雅章（福　岡） |
| 石塚　大河（長　野） | 児玉浩三郎（長　野） | 佐平　牧生（沖　縄） |
| 新垣　志信（沖　縄） | | |

## 10月の行事予定

■第51回国民体育大会
10月13日～17日　広島県・広島市、甲田町
■日本リーグ第４週
●湧永製薬：トヨタ車体
10月１日　広島・湧永満之記念体育館
●日新製鋼：中村荷役
10月１日　広島・呉市体育館
●大崎電気：三陽商会
10月２日　埼玉・志木市民体育館
●立山アルミ：オムロン、北陸電力：トヨタ自動車
10月２日　福井・北陸電力福井体育館
●本田技研：大同特殊鋼
10月３日　三重・鈴鹿市体育館
●トクヤマ：本田技研熊本
10月３日　山口・徳山市総合スポーツセンター
●シャトレーゼ：イズミ
10月５日：山梨・小瀬スポーツ公園体育館
●本田技研：トヨタ車体
10月５日：三重・鈴鹿市体育館
●湧永製薬：三陽商会、日新製鋼：大崎電気
10月５日：広島・東区スポーツセンター
●トヨタ自動車：アラコ九州、日本電装：北陸電力
10月５日：愛知・東海市民体育館
●大阪ガス：トクヤマ
10月５日：兵庫・大阪ガス今津体育館
●本田技研熊本：三景
10月５日：熊本・水俣市立総合体育館
●ソニー国分：ムネカタ
10月５日：鹿児島・国分市総合体育館
●日立栃木：ジャスコ
10月６日：栃木・栃木市総合体育館
●大同特殊鋼：中村荷役、ブラザー工業：大和銀行
10月６日：愛知・東海市民体育館
●北国銀行：大崎電気
10月６日：岐阜・岐阜メモリアルセンター
●アラコ九州：大阪ガス
10月９日：佐賀・佐賀県総合体育館
●大崎電気：本田技研、大崎電気：日立栃木
10月19日：埼玉・川越運動公園総合体育館
●トクヤマ：トヨタ自動車
10月19日：山口：徳山市総合スポーツセンター
●アラコ九州：日本電装
10月19日：佐賀・佐賀県総合体育館
●大同特殊鋼：トヨタ車体、ブラザー工業：ソニー国分
10月20日：愛知・岡崎市体育館
●イズミ：北国銀行
10月20日：広島・佐伯区スポーツセンター
●オムロン：シャトレーゼ、本田技研熊本：大阪ガス
10月20日：熊本・鹿本町立体育館
●立山アルミ：ジャスコ、北陸電力：三景
10月20日：福井・福井県営体育館
●ムネカタ：大和銀行
10月20日：福島・本宮町総合体育館
○常務理事会　10月５日(土)

## CONTENS　10月号



【9月号訂正】13頁の全国クラブ選手権西日本大会の開催地は山口県徳山市総合スポーツセンターの誤りでした。訂正してお詫びいたします。

（財）日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』　第三六八号

昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可
平成八年九月二十六日　印刷　平成八年十月一日　発行

東京都渋谷区神南一－一－一
電話　代表　三四八一－二三六一
振替　〇〇一二〇－七－一〇二九三

編集兼発行人　中澤重夫

定価三五〇円